学校コード F108110101423 注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分: 研究科の設置

注1



注2

筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群(D)(5年-貫)

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人筑波大学 令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教育推進部教育機構支援課

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 - 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

• 学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工情報生命学術院

< 5	ノステム情報工学研究群(D)(5年一貫)>	^ °−	・ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	29
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	3 1
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	33
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	37
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	39

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人筑波大学

- (2) 大 学 名 筑波**大学**
- (3) 調査対象大学等の位置

〒305-8577 茨城県つくば市天王台一丁目1番1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学 長	(ナガタ キョウスケ) 永 田 恭 介 (平成25年4月)		
学術院長	(ニシオカ マキヒト) 西 岡 牧 人 (令和2年4月)	(エヅラ ヒロシ) 江 面 浩 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令 和4年4月1日(4)
研究群長	(エンドウ ヤスノリ) 遠 藤 靖 典 (令和2年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例)令和4年度に報告済の内容 → (4)令和5年度に報告する内容 → (5)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - -<u>「大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載し</u> 別ファイルにて提出してください。
 - <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが</u>、

 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程
 - を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	₩ 右
理工情報生命 学術院 システム情報 工学研究群 (D) (5年一貫)	工学関係	5 年	8 人	2年次 0 人 3年次	40	-	
博士 (人間情報学) 修士 (人間情報学)				人 4年次 0 人			

- 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。

 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の 「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均入学	平均入学 定員超過率	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	定員超過率	, 使具起迥 华 (控除後)	充 足 率	(控除後)	1/19	4
A 入学定員	, , ,	λ λ	人 人 8 (-) [-]	人 人 8 (-) [-]	人 人 8 (-) [-]	人 人 8 (-) [-]						
志願者数			6 – (–) (–) [2] [–]	10 - (-) (-) [2] [-]	19 – (4) (–) [6] [–]	13 (5) () [5] []						
受験者数			6 – (–) (–) [2] [–]	10 - (-) (-) [2] [-]	19 – (4) (–) [6] [–]	13 (4) () [4] []	0.93 倍	-	0.87 倍	-		
合格者数			6 - (-) (-) [2] [-]	9 – (–) (–) [1] [–]	8 - (4) (-) [3] [-]	8 (3)() [2][]						
B 入学者数			6 - (-) (-) [2] [-]	8 - (-) (-) [1] [-]	8 - (4) (-) [3] [-]	8 (3)() [2][]						
入学定員超過率 B/A			0. 75	1. 00	1. 00	1. 00						

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、 (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。
 - また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 - なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。

計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、

報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1,00倍以下の場合や、1,00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。 なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和:	2年度	令和	3年度	令和 ·	4 年度	令和 5	5年度	備考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
			$\overline{}$		$\overline{}$	6	-	8	-	8	-	8		
	1 年次					[2]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]	[1]	[]	
		_	_			()		6	-	8	-	8	()	
	2年次	/		/		/		[2]	[-]	[1]	[-]	[1]	[]	
		_						(-)	(-)		(-)	()	()	 令和5年度(5月1日現在)
	3 年次		/		/					[3]	- [-]	9 [2]		編入学:3年次3人[1人]、4年3人[1人]
	0 +%									(-)	(-)	()		令和4年度(年度末時点)
			$\overline{}$		$\overline{}$		$\overline{}$		/			3		編入学:3年次3人[2人]
	4 年次			/		/				/		[2]	[]	
		_		_			6	/	4	/	10	()	18	
	計						2]		3]		5]		6]	
						(-	-)	(-)	(.	-)	()	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ [] 内には、留学生の状況について、内敷で記入してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ () 内には、留年者の状況について、内敷で記入してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学)以外の学期の分と説けている場合)
 に公はて教徒を記してください。素素入学の300字数の担告は、4000分割類は「一」を記入してください。 に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	大尚本 粉(1)	19世本数/)		内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	返子有奴(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成30年度	/ \	/ \	平成30年度		_ \	
令和元年度	/ \	/ \	平成30年度	/ \	/ \	
7,1070-12		/ ^	令和元年度	<u>/</u>	<u>/</u> \	
			平成30年度	<u>/</u>	<u>/</u>	
令和2年度	6 人	0 人	令和元年度	/ \	/ \	
			令和2年度	0人	0人	
			平成30年度			
令和3年度	14 人	5 人	令和元年度	/ \	/ \	
			令和2年度	5 人	1人	就職(4人)、[就職(1人)] ※うち4人は修士取得退学
			令和3年度	人	0人	
			平成30年度	/ \	/ \	
			令和元年度	/ \	/ \	
令和4年度	20 人	4 人	令和2年度	1人	1人	[就職(1人)]
			令和3年度	2 人	0 人	就職(2人)
			令和4年度	1人	1人	[他の教育機関への入学・転学(1人)]、編入学(1人)
			平成30年度		<u>/</u> \	
			令和元年度	/ \	/ \	
令和5年度	28 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
	/		令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		9 人		9 人	3 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】					
平成30年度の退学者数(a)	- = -	0	=	_	%
平成30年度の在学者数(b)		0			/0
【令和元年度】					
令和元年度の退学者数(a)		0	=	_	%
令和元年度の在学者数(b)		0	_		70
【令和2年度】					
令和2年度の退学者数(a)		6	=	0	%
令和2年度の在学者数(b)	_	6	_		/0
【令和3年度】					
令和3年度の退学者数(a)	- = -	<u>5</u>	=	35.71	%
令和3年度の在学者数(b)		14		00.71	/0
【令和4年度】					
令和4年度の退学者数(a)	- = -	20	=	20	%
令和4年度の在学者数(b)		20			
【令和5年度】					
令和5年度の退学者数(a)	- = -	0	=	0	%
令和5年度の在学者数(b)		28			-

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<理工情報生命学術院 システム情報工学研究群(D)(5年一貫)>

(1)一① 授業科目表

【設置時又は届出時】

【令和5年度】

	1 11 C		配	į	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任		5J C		配业	Ě	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年:	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		戊田	次 1·2·	修	択	由	授	授	師	教	手	担	-		戊田倫理	次 1·2·	修	択	由	授	授	師	教	手	担
大学	倫生 理命	応用倫理 環境倫理学概論	3後 1·2·		1							2	大学	倫生理命	応用倫理 環境倫理学概論	3後 1·2·		1							2
子院共	科·	研究倫理	3後 1·2·		1							2	院共	科·	研究倫理	3後 1·2·		1							2
通	目環 群境	生命倫理学	3前 1·2·		1							10	通	目環群境	生命倫理学	3前 1·2·		1							10
科目	研	企業と技術者の倫	3前 1·2·		1			1				1	科目	研	企業と技術者の倫	3前 1·2·		1			1				0
	究	理 テクニカルコミュニケーショ	3前 1·2·		1							1		究	理 テクニカルコミュニケーショ	3前 1·2·		1			Ė				1
	情 報	ν 	3前 1·2·											情 報	ン Presentations for	3前 1·2·									
	伝達	英語発表	3前		1							1		伝達	General Audiences	3前		1							1
	五 ·	異分野コミュニケーションのためのプレセン	1·2· 3通		2							2		力	異分野コミュニケーションのためのプレセン	1·2· 3通		2							3
	п	テーションハトル Global	1.2.											□ <u>«</u>	テーションハトル Global	1.2.									
	ュ	Communication Skills Training	3前		1							1			Communication Skills Training	3前		1							2
	ニケー	サイエンスコミュニケーショ ン概論	1·2· 3前		1							1		ケー	サイエンスコミュニケーショ ン概論	1·2· 3前		1							1
	- ショ	サイエンスコミュニケーショ ン特論	1·2· 3後		1							1		ショ	サイエンスコミュニケーショ ン特論	1·2· 3後		1							1
	ンカ	サイエンスコミュニケータ 養成実践講座	1·2· 3休		2							1		シカ	サイエンスコミュニケータ 養成実践講座	1·2· 3休		2							1
	養成	人文知コミュニケーショ ン:人文社会科学と	1.2.		1							3		養成	人文知コミュニケーショ ン:人文社会科学と	1.2.		1							2
	科目	自然科学の壁を 超える	3後		Ċ									科目	自然科学の壁を 超える	3後		·							
	群													群	総合資料学: 歴史 文化の高度化研	1· 2·3		2							3
		21世紀的中国 —	1.2.		1							1			究とその伝達方 21世紀的中国 —	1.2.		1							8
	国際	現代中国的多相国際研究プロジェクト	3後 1·2·		1							1		国際	現代中国的多相 国際研究プロジェクト	3後 1·2·		1							1
	性 養	国際インターンシップ	3通 1·2· 3通		1							1		性養	国際インターンシップ	3通 1·2· 3通		1							1
	成 科	地球規模課題と国 際社会:食料問題	3进 1·2· 3後		1							1		成 科	地球規模課題と国際社会:食料問題	3进 1·2· 3後		1							4
	目群	は 地球規模課題と国際 社会:海洋環境	1.2.		1							2		目群	は 地球規模課題と国際 社会:海洋環境	1 · 2 ·		1							3
		変動と生命地球規模課題と国	3後		'							_			変動と生命地球規模課題と国	3後 1·2·		•							ŭ
		地球規模課題と国際社会:社会脳 地球規模課題と国	3休		1							1			地球規模課題と国際社会:社会脳 地球規模課題と国	3休		1							4
		際社会:感染症·保 健医療問題	1·2· 3後		1							3			際社会:感染症・保健医療問題	1·2· 3後		1							2
		地球規模課題と国			1							1			地球規模課題と国	1· 2·3		1							1
		際社会:社会問題 地球規模課題と国	3後												際社会:社会問題 地球規模課題と国	休									
		際社会:環境汚染 と健康影響	1·2· 3後		1							1			際社会:環境汚染 と健康影響	1·2· 3後		1							1
		地球規模課題と国際社会:環境・エネル	1·2· 3休		1							1			地球規模課題と国際社会:環境・エネル			1							8
		* *-	31A												キー 外交実務の実際	前 1·									
															と国際関係論	2·3 前		1							1
	+	JAPICアト・バンスト テ・ィスカッションコースI-	1.2.		1		1							+	JAPICアト・ハ・ンスト ディスカッションコースIー	1.2.		1		1					1
	ャリ	流動化する世界と これからの日本	3後											ャリ	多極化する世界と これからの日本	3後		•		<u> </u>					
	アマ	JAPICアト・ハ・ンスト テ・ィスカッションコースIIIー	1.2.											アマ	JAPICアト・ハ・ンスト テ・ィスカッションコースIIー	1.2.									
	・ネジ	テクノロジーとグローハ・ルで拓く未来	3前		1		1							ネジ	日本が目指す Society5.0と次世	3前		1		1					1
	メン	ダイバーシティと	1.2.		1							1		メン	代モヒ・リティ ダイバーシティと	1.2.		1							2
	ン ト 科	SOGI/LGBT+ ワークライフミックス –	3休 1·2·											ト 科	SOGI/LGBT+ ワークライフミックス –	3休 1·2·									
	目群	モーハウスに学ぶパラ ダイムシフト	3前		1							1		目群	モーハウスに学ぶパラ ダイムシフト	3前		1							2
	uт	魅力ある理科教 員になるための生	1·2· 3休		1							9		₩*	魅力ある理科教 員になるための生	1·2· 3休		1							9
			1.2.		1							8			物・地学実験 アクセシビリティリーダー	1 · 2 ·		1							8
	l		3前		1					l		ď	I	I	特論	3前		1		I					°

			脳の多様性とセルフ	1·2· 3休		1		Ī					1	I	l		脳の多様性とセルフ			1		Ī					4
			マネシ・メント	311													マネン メント 筑波クリエイティプ・	3休 1· 2·3		1							
																	キャンプ・アト・パンスト	後 1.									1
																	博士のキャリアパス	2·3		1							2
	_	_	生物多様性と地球 環境	1·2· 3前		1							4				生物多様性と地球 環境	1·2· 3前		1							4
		勺	内部共生と生物進 化	1·2· 3前		1							1		É	的	内部共生と生物進 化	1·2· 3前		1							1
	基	杂	に 海洋生物の世界と 海洋環境講座	1.2.		1							2		f	基盤	海洋生物の世界と	1.2.		1							2
	开厄		海洋環境講座 科学的発見と創造	3休 1·2·												形 式	海洋環境講座 科学的発見と創造	3休 1·									
	利 E		性白然巛まにじる白	3前		1							1			目	性	2·3 後		1							2
	君		自然災害にどう向き合うか	1·2· 3前		1			1							詳	自然災害にどう向き合うか	1·2· 3前		1			1				
			「考える」動物としての人間-東西哲	1·2· 3休		1							5				「考える」動物としての人間-東西哲	1·2· 3休		1							8
			学からの考察 21世紀と宗教	1.2.		1							2				学からの考察 21世紀と宗教	1.2.		1							4
			21 应师52水头	3前									_				UT-Top	3前 1・									
																	Academist's Lecture	2·3 後		1							3
	ļ	∍ .	塑造実習	1·2· 3後		1							2			身	塑造実習	1·2· 3後		1							2
	礼	,	コミュニケーションアート& デザインA	1·2· 3前		1							8		1	す 心 基	コミュニケーションアート& デザインA	1·2· 3前		1							6
	盘	杂	コミュニケーションアート& デザインB	1·2· 3後		1							7		f	路	コミュニケーションアート& デザインB	1·2· 3後		1							8
	月	芃	日本画実習	1·2· 3前		1							2		F	形 式	日本画実習	1·2· 3前		1							1
	科目	ĺ	ヨーカ゛コース	1·2· 3前		1							1		İ	計	ヨーカ゛コース	1·2· 3前		1							3
	君	ŧ	絵画実習A	1·2· 3前		1							1		1	詳	絵画実習A	1·2· 3前		1							1
			現代アート入門	1·2· 3前		1							1				現代アート入門	1 · 2 · 3		1							1
				SHI														前 1・									
																	書実習基礎	2·3 前		1							2
			大学院体育Ia	1·2· 3通		1							4				大学院体育Ia	1·2· 3通		1							4
			大学院体育Ib	1·2· 3前		1							3				大学院体育Ib	1·2· 3前		1							3
			大学院体育Ic	1·2· 3後		1							3				大学院体育Ic	1·2· 3後		1							3
			大学院体育IIa	1·2· 3通		1							4				大学院体育IIa	1·2· 3通		1							4
			大学院体育IIb	1·2· 3前		1							3				大学院体育IIb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育IIc	1·2· 3後		1							3				大学院体育IIc	1·2· 3後		1							3
			大学院体育IIIa	1·2· 3通		1							4				大学院体育IIIa	1·2· 3通		1							4
			大学院体育IIIb	1·2· 3前		1							3				大学院体育IIIb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育IIIc	1·2· 3後		1							3				大学院体育IIIc	1·2· 3後		1							3
			大学院体育IVa	1·2· 3通		1							4				大学院体育IVa	1·2· 3通		1							4
			大学院体育IVb	1·2· 3前		1							3				大学院体育IVb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育IVc	1·2· 3後		1							3				大学院体育IVc	1·2· 3後		1							3
			大学院体育Va	1·2· 3通		1							4				大学院体育Va	1·2· 3通		1							4
			大学院体育Vb	1·2· 3前		1							3				大学院体育Vb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育Vc	1·2· 3後		1							3				大学院体育Vc	1·2· 3後		1							3
-			小計(59科目) 社会工学インターン	1.2	0	61 2	0	16	24	0	8	0	92 8	-			小計(65科目) 社会工学インターン	1.2	0	68 2	0	20	20	0	9	0	132 8
学位プ	社会	専門	シップ 社会工学ファシリテー	通		2		10	24	'	0		0	学位	社会		シップ	通		2		20	20	'	9		ů
プロ	会工	科	ケー育成プログラム	1·2 通		2		16	24	1	8		8	位 プ ロ	工学	科	社会工学ファシリテー ター育成プログラムエ	1·2 通		2		20	20	1	9		8
グ	関	п	社会工学ファシリテー	1.2		2		16	24	1	8		8	グ	関	Н	社会工学ファシリテー	1.2		2		20	20	1	9		8
ラム科目	科		ター育成プログラム!! 社会工学ファシリテー	通		_					-		_	ラム	連科		ター育成プログラムII 社会工学ファシリテー	通		_							
科目	目		ター育成プレプログラ ムIII	1·2· 3通		1		16	24	1	8			科目	目		ター育成プレプログラ ムIII	1·2· 3通		1		20	20	1	9		
群			社会工学ファシリテー	1.2.				10	0.4					群			社会工学ファシリテー	1 · 2 ·							•		
			ター育成プレプログラ ムIV	3通		1		16	24	1	8						ター育成プレプログラ ムIV	3通		1		20	20	1	9		
			社会工学博士特別演習I	1前		2		16	24	1	8		8				社会工学博士特別演習I	1通		2		20	20	1	9		8
			社会工学博士特 別演習Ⅱ	1後		2		16	24	1	8		8				社会工学博士特 別演習Ⅱ	1通		2		20	20	1	9		8
			社会工学博士特 別演習Ⅲ	2前		2		16	24	1	8		8				社会工学博士特 別演習Ⅲ	2通		2		20	20	1	9		8
			社会工学博士特 別演習Ⅳ	2後		2		16	24	1	8		8				社会工学博士特 別演習Ⅳ	2通		2		20	20	1	9		8
			社会工学博士特 別研究I	3前		2		16	24	1	8		8				社会工学博士特 別研究I	3通		2		20	20	1	9		8
-	•			- '				-	•		•	. ,	•	•	•						. ,	-	•			•	- •

		社会工学博士特 別研究Ⅱ	3後		2		16	24	1	8		8
		小計(11科目)		0	20	0	16	24	1	8	0	8
リス	専門	リスク・レシ・リエンス工学博士特別講義 (セキュリティ)	1·2· 3通		1							1
ク・レ	科目	リスク・レシ・リェンス工 学博士特別講義 (都市防災・リスク情	1·2· 3通		1							1
ジリエ		リスク・レシ・リェンス工 学博士特別講義 (ビジネスリスク)	1·2· 3通		1							4
ンス		リスク・レジリエンス工 学博士特別演習	1·2· 3通		2		7	6		5		15
工学		リスク・レジリエンス工 学博士特別研究	1·2· 3通		6		7	6		5		15
関連		リスク・レシ・リエンス・ケー ススタティ	1·2· 3通		1		7	6		5		4
科目		リスク・レシ・リエンス工 学博士PBL演習	1·2· 3通		2		7	6		5		4
Н		リスク・レシ・リエンスエ 学博士インターンシップ	1·2· 3通		1		7	6		5		4
		リスク・レシ・リエンスエ 学博士インターンシップ	1·2· 3通		2		7	6		5		4
		リスケ・レシ・リェンス工 学博士プロシ・ェクト研究	1·2· 3通		2		7	6		5		4
		小計(10科目)		0	19	0	7	6	0	5	0	17
	専	システムテ゛サ゛イン論	1·2· 3通		1							1
	門科目	ネットワーク特論	1·2· 3通		1							1
	(昼夜	プ ^ロ ジェクト・マネジ・メント 論	1·2· 3通		1							1
)	情報マネジ・メント	1·2· 3通		1							1
		情報検索特論	1·2· 3通		1							1
		知的ドキュメント管理論	1·2· 3通 1·2·		1							1
		知能情報システム	3通 1·2·		1							1
		小計(8科目)	3通	0	8	0	0	0	0	0	0	4
		異分野研究室化	1·2· 3通	U	1	U	U	1	U	U	U	4
情報	専門	ターンシップ』 異分野研究室イン ターンシップ』I	1·2· 3通		1			1				
理工品	科目	研究型インターンシップ	1·2· 3通		1			1				
関連が		研究型インターンシップ Ⅱ	1·2· 3通		1			1				
科目		情報理工後期特 別研究	1通		6		20	25	3	17		6
		情報理工後期特 別演習A	1通		2		20	25	3	17		6
		情報理工後期特 別演習B	1·2· 3通		2		20	25	3	17		6

		社会工学博士特 別研究Ⅱ	3通		2		20	20	1	9		8
		小計(11科目) リスク・レジ・リエンスエ		0	20	0	20	20	1	9	0	8
IJ	専	学博士特別講義 (セキュリティ)	1·2· 3通		1			1				1
スク	門科	リスク・レシ・リエンス工学博士特別講義	1 · 2 ·		1			1				1
レ	目	(都市防災・リスク情	3通		'			'				'
ジリ		リスク・レシ・リエンス工 学博士特別講義	1·2· 3通		1							8
エン		(ヒ゛シ゛ネスリスク) リスク・レシ゛リエンスエ	1.2.		2		8	3		7		16
スエ		学博士特別演習リスク・レジリエンスエ	3通 1·2·		6		9	3		7		16
学関		学博士特別研究 リスク・レシ・リエンス・ケー	3通 1·2·		1		8	3		7		14
連科		リスク・レシ・リエンスエ	3通 1·2·		2		8	3		7		3
目		学博士PBL演習 リスク・レジ・リエンスエ	3通 1·2·		1		8	3		7		3
		学博士インターンシップ リスク・レジリエンスエ	3通 1·2·		2		8	3		7		3
		学博士インターンシップ リスク・レシ・リエンスエ	3通 1·2·		-		Ů	Ů		,		ľ
		学博士プロジェクト研究	3通		2		8	3		7		3
		リスク・レシ・リェンス工 学博士特別講義	1.									•
		(情報知能災害リス クマネシ・メント)	2·3 後		1			1				3
		小計(11科目)	1.	0	20	0	9	3	0	7	0	25
	専	システムテ゛サ゛イン論	2·3 前		1							1
	門科	ネットワーク特論	1 · 2 · 3		1							0
	目((未開講) プロジェクト・マネジメント	後 1·									
	昼夜	論	2·3 前		1							1
	$\overline{}$	情報マネジメント	1· 2·3		1							0
			後 1・									
		情報検索特論	2·3 前		1							1
		知的ドキュメント管理論	1· 2·3 前		1							1
		知能情報システム	1· 2·3		1							1
		ALICIA TRANCIA	後 1.									ľ
		複雑システム論	2·3 後		1							1
		小計(8科目) 異分野研究室イン	1.2.	0	8	0	0	0	0	0	0	3
情	専	ターンシップ』 異分野研究室イン	3通 1·2·		1			3		1		
報理	門科	ターンシップ。II 研究型インターンシップ	3通		1			3		1		
工関	目	I 研究型インターンシップ	3通 1·2·		1			3		1		
連 科		II 情報理工後期特	3通		1			3		1		
目		別研究情報理工後期特	1通		6		24	30	2	18		9
		別演習A 情報理工後期特	1通 1·2·		2		24	30	2	18		9
		別演習B 情報理工後期特	3通		2		24	30	2	18		9
		別研究s 情報理工後期特	1前		3		24	30	2	18		9
		別研究f 情報理工後期特	1後		3		24	30	2	18		9
		別演習As 情報理工後期特	1前		1		24	30	2	18		9
		別演習Af	1後		1		24	30	2	18		9
		情報理工後期特 別演習Bs	2·3 前		1		24	30	2	18		9
		情報理工後期特	1· 2·3		1		24	30	2	18		9
		別演習Bf	後 1.		'				_			۱
		AI応用研究インター ンシップ	2·3 通		1			4		1		
	ı	سرحان حاجيا	1.		١.							
		情報理工分野横 断後期特別演習	2·3 前		2		24	30	2	18		9

知	車	知能機能システム特別研究A	1·2· 3通		4		15	14	1	11		14
能	門	知能機能システム特別研究B	1·2· 3通		2		15	14	1	11		14
機能	科目	知能機能システム特	1 · 2 ·		2		15	14	1	11		14
シス		別研究C 知能機能システム学	3通 1·2·									
テム		術雑誌論文発表 演習I	3通		2		15	14	1	11		14
関		知能機能システム学術雑誌論文発表	1 · 2 ·		2		15	14	1	11		14
連 科		演習II	3通		-		10		ľ	' '		17
目		知能機能システム国際会議論文発表	1·2· 3通		2		15	14	1	11		14
		演習 知能機能システムコラ	1通		1		15	14	1	11		14
		ボラトリー演習Ⅲ 知能機能システムコラ										
		ボラトリー演習IV 知能機能システム計	2通		1		15	14	1	11		14
		画調書作成演習III 知能機能システム計	1通		1			2		8		
		画調書作成演習	2通		1			2		8		
_		小計(10科目) 構造エネルキ・-工学	. 1797	0	18	0	15	14	1	11	0	14
構造	専門	後期特別演習	1通		2		9	12		8		9
エ	科	構造エネルキ・一工学 後期特別研究	1通		6		9	12		8		9
ネル	目											
ギー												
工 学												
関連												
科目												
П		小計(2科目) エンパワーメント情報学	1.2.	0	8	0	9	12	0	8	0	9
ェ	専	原論 エンパワーメント情報学	3前		1		14	14	1	11		1
ンパ	門科	特別演習I	1通		2		14	14	1	11		1
ワー	目	エンパワーメント情報学 特別演習II	2通		2		14	14	1	11		1
メン		エンパワーメント情報学 特別研究I	1通		4		14	14	1	11		1
/ト情		エンパ・ワーメント情報学 特別研究II	2通		4		14	14	1	11		1
報学		エンハ・ワーメント情報学 特別研究III	3通		4		14	14	1	11		1
関		エンハ・ワーメント情報学 特別研究IV	4通		4		14	14	1	11		1
連科		エンパワーメント情報学 特別研究V	5通		4		14	14	1	11		1
目		エンハ゜ワーメントプロシェ	1.2.		2					1		
		クト研究 エンハ・ワーメント学術雑	3通 1·2·									
		誌論文発表演習	5通		2		14	14	1	11		1
		エンパワーメント国際会議・学術雑誌論文	1·2· 3·4·		2		14	14	1	11		1
		発表演習 アントレプレナーシップ演	5通									
		習 エンジェアリングレジデ	3通		1					1		
	ì		4通		1		Ī	l		1		
		ンス実習										
		ェンパ・ワーメント研究発 表演習	1·2 通		1	•	14	14	1	11		1
		エンパ・ワーメント研究発	1·2 通	0	34	0	14 14	14	1	11 11	0	1
ライ	基础	ェンハ [°] ワーメント研究発 表演習 小計(14科目)	1·2 通 1通	0	34	0					0	1
イフ	- 礎 科	エンパワーメント研究発 表演習 小計(14科目) 人を対象とした研究、基盤編 博士後期ライフイノ ヘーションセミナー	1·2 通 1通	0	34 1 1	0					0	1 1 9
イフィ	礎	エンパワーメント研究発表演習 小計(14科目) 人を対象とした研究・基盤編博士後期ライフィノ ペーションセミナー博士後期インターン シップ・1	1·2 1通 1前 1·2· 3通	0	34 1 1	0					0	1 1 9
イフイノベー	- 礎 科	エンパワーメント研究発表演習 小計(14科目) 人を対象とした研究基盤編博士後期ライフィノベージョンセミナー博士後期インターンシップ「II	1·2 通 1通 1前 1·2·		34 1 1 1 1		14	14	1	11		1 1 9 1
イフイノベ	- 礎 科	エンパプーメント研究発表演習 小計(14科目) 大を対象とした研究ととした研究とととが研究をといた研究とは表別のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	1·2 通 1通 1前 1·2· 3通 3通	0	34 1 1 1 1 4	0	0				0	1 9 1 1
イフイノベーション	礎科目 専	エンパプワーメント研究発表演習 小計(14科目) 人を対象とした研究基盤編博士後期ライフイノベーションセミナー博士後期インターンシップ II 小計(4科目) ライフイハアーション博士後期演習1秋	1·2 1通 1前 1·2·3 3通 1後		34 1 1 1 1 4		0 1	14	1	11		1 9 1 1 1 3
イフイノベー ション(生	礎科目 専門科	エンパワーメント研究発表演習 小計(14科目) 人を対象とした研究基盤編 博士後期ライフイノ ヘージョンセミナー 博士後期インターン シップ「 博士後期インターン シップ「 小計(4科目) ライフイノハーション博士 を期演習1秒 オーチャーの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1·2 1通 1i 1i </td <td></td> <td>34 1 1 1 1 4</td> <td></td> <td>0</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>11</td> <td></td> <td>1 1 9 1 1 11 3 3</td>		34 1 1 1 1 4		0	14	1	11		1 1 9 1 1 11 3 3
イフイノベー ション (生物情	礎科目 専門	エンパプワーメント研究発表演習 小計(14科目) 一次を対象とした研究発生にない。 「博士後期ライフイノベーションでプII 小計(4科目) ライフイノバーション博士後期インターンシップII 小計(4科目) ライフイノバーション博士後期内ノアーション博士後期内ノアーション博士後期の一次に対し、対し、一次に対し、一次に対し、一次に対し、対し、一次に対し、一次に対し、対し、対し、一次に対し、一次	1·2 1通 1前 1·2·3 3通 1後		34 1 1 1 1 4		0 1	14	1	11		1 9 1 1 1 3
イフイノベーション(生物情報)	礎科目 専門科	エンパワーメント研究発表演習 小計(14科目) 大変基盤編 博士後期ライフイノベージコと後期では、一次のでは、14科目) 「サンカンツアプロックでは、14科目) 「サンカンファンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンファンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンファンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンファンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンファンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンファンアプロックでは、14科目) 「サンカンファンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14科目) 「サンカンアプロックでは、14和日) 「サンカンアプロックでは、14和日) 「サンカンアプロックでは、14和日) 「サンカンアプロックでは、14和日子のでは、14和日) 「サンカンアプロックでは、14和日) 「サンカンアプロックでは、14和日) 「サンカンアプロックでは、14和日) 「サ	1·2 1通 1i 1i </td <td></td> <td>34 1 1 1 1 4 1</td> <td></td> <td>0 1 1</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>11</td> <td></td> <td>1 1 9 1 1 11 3 3</td>		34 1 1 1 1 4 1		0 1 1	14	1	11		1 1 9 1 1 11 3 3
イフイノベー ション(生物情報	礎科目 専門科	エンパプワーメント研究発表演習 ハトでは、14科目) 一次を基盤には、14科目) 一次を基盤をは、14科目) 一次を基盤をは、14科目のでは、14科目の	1·2 通 1面 1in 1in <td></td> <td>34 1 1 1 1 4 1 1 2</td> <td></td> <td>0 1 1 1</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>11</td> <td></td> <td>1 1 9 1 1 11 3 3</td>		34 1 1 1 1 4 1 1 2		0 1 1 1	14	1	11		1 1 9 1 1 11 3 3
イフイノベー ション(生物情報)関連科	礎科目 専門科	エンパプワーメント研究発表演習 小計(14科目) 大変基盤期ライフイノベージを表演では、一大変を表した研算を表した研算を表した。 「は、一大変を表した。 「は、一大変を表した。 「は、一大変を表した。」 「は、一大変を表した。 「は、一大変を表した。」 「は、一大変	1·2 1 1 1 1 1 2 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 7 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 7 8 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 4 4 4 4		34 1 1 1 1 4 1 1 2 2		0 1 1 1 1	14	1	11		1 1 9 1 1 3 3 3 3
イフイノベー ション(生物情報)関連	礎科目 専門科	エンパプワーメント研究発表演習 ハトでは、14科目) 一次を基盤には、14科目) 一次を基盤をは、14科目) 一次を基盤をは、14科目のでは、14科目の	1·2·通 1通 1市 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・通 1・2・回		34 1 1 1 1 4 1 1 2 2		0 1 1 1 1 1	14	1	11		1 1 9 1 1 1 3 3 3 3 3

		知能機能システム特	1.2.		_		40	4.4	_	44		4=
知	専	別研究A 知能機能システム特	3通 1·2·		4		19	14	0	11		15
能機	門科	別研究B	3通		2		19	14	0	11		15
能シ	目	知能機能システム特別研究C	1·2· 3通		2		19	14	0	11		15
ステ		知能機能システム学 術雑誌論文発表 演習I	1·2· 3通		2		19	14	0	11		15
ム関連		知能機能システム学 術雑誌論文発表	1·2· 3通		2		19	14	0	11		15
科目		演習Ⅱ 知能機能システム国 際会議論文発表	1.2.		2		19	14	0	11		15
		演習 知能機能システムコラ	3通 1通		1		19	14	0	11		15
		ボラトリー演習Ⅲ 知能機能システムコラ	2通		1		19	14	0	11		15
		ボラトリー演習IV 知能機能システム計	1通		1			4		5		
		画調書作成演習Ⅲ 知能機能システム計						ľ				
		画調書作成演習 小計(10科目)	2通	0	18	0	19	14	0	5 11	0	15
		構造エネルギー工学	1通	0	2	0	9	13		6	-	10
構造エ	専門科	後期特別演習 構造エネルキ・一工学 後期特別研究	1通		6		9	13		6		10
ーネル	目	構造エネルキ・一工学	1前		1		9	13		6		10
ギー		後期特別演習A 構造エネルキー工学 後期特別演習D	1後		1		9	13		6		10
工学関		後期特別演習B 構造エネルキ・一工学 後期特別研究A	1前		3		9	13		6		10
連科		構造エネルキ・一工学 後期特別研究B	1後		3		9	13		6		10
目		小計(6科目)		0	16	0	9	13	0	6	0	10
1	#	エンハ [°] ワーメント情報学 原論	1·2· 3前		1		16	14	0	11		0
エン	専門	エンハ・ワーメント情報学 特別演習I	1通		2		16	14	0	11		0
パワ	科目	エンパワーメント情報学	2通		2		16	14	0	11		0
ا لا		特別演習II エンハ・ワーメント情報学	1通		4		16	14	0	11		0
ント		特別研究I エンパワーメント情報学	2通		4		16	14	0	11		0
· 情報		特別研究Ⅱ エンパワーメント情報学	3通									_
学関		特別研究III エンパワーメント情報学			4		16	14	0	11		0
連		特別研究IV エンパワーメント情報学	4通		4		16	14	0	11		0
科目		特別研究V エンパワーメントプロジェ	5通 1·2·		2		16	14	0	11		0
		か研究 エンパワーメント学術雑 誌論文発表演習	3通 1·2· 3·4·		2		16	14	0	11		0
		エンハ・ワーメント国際会議・学術雑誌論文	5通 1·2· 3·4·		2		16	14	0	11		0
		発表演習 アントレプレナーシップ演	5通 3前		1		1	17		0		1
		習 エンシ゛ニアリンク゛レシ゛テ゛	4通		1		1			0		
		ンス実習 エンパワーメント研究発	1.2		1		16	14	0	11		0
		表演習 小計(14科目)	通	0	34	0	16	14	0	11	0	1
		人を対象とした研	1通	_	1							2
ライ	基礎	究:基盤編 博士後期ライフイノ	1前		1							10
フィ	科目	ベーションセミナー 博士後期インターン	1.2.		1							2
ノベ	_	シップ』 博士後期インターン	3通		1							
ーシ		<u>シップ[°]II</u> 小計(4科目)	3囲	0	4	0	0	0	0	0	0	14
		ライフイノヘ・ーション博	1後	_	1		2	1		2		26
∃ .		士後期演習I秋 ライフイノベーション博	1前		1		2	1		2		26
ン(専門			Ī	Ι΄.							26
ン(生物		士後期演習I春 ライフイノペーション博			2		2					
ン(生	門科	士後期演習I春	1後		2		2	1		2		
ン(生物情	門科	士後期演習I春 ライフイノベーション博 士後期研究I秋	1後		2		2	1		2		26
ン(生物情報)関連	門科	士後期演習「春 ライフイノへ・一ション博 士後期研究「秋 ライフイノへ・一ション博 士後期研究「春	1後 1前 2後		2		2	1		2		26 26
ン(生物情報)関	門科	士後期演習!春博 ライフィハ・ーションは 士後期研究!秋博 ナイクリー・フェンは 大後期研究!えば ライフィハ・ーションを博 ライフィハ・ーションは 大後期演習!!秋博 大後期演習!!秋博	1後 1前 2後 2前		2 1 1		2 2 2	1 1 1		2 2 2		26 26 26
ン(生物情報)関連科	門科	士後期演習!春博 ライフイノハーション博 ライフイノハーション ライフイノハーション ライクイノハーション ライフイノハーション サ 大後期研究ョン 大後期演習II秋 ライフイノハーション博	1後 1前 2後		2		2	1		2		26 26

ライフイノヘ・ーション博 士後期演習III秋	3後		1		1					3
ライフイノベーション博 士後期演習Ⅲ春	3前		1		1					3
ライフイノベーション博 士後期研究Ⅲ秋	3後		2		1					3
ライフイノベーション博 士後期研究Ⅲ春	3前		2		1					3
小計(12科目)		0	18	0	1	0	0	0	0	3
合計(137科目)		0	204	0	64	79	5	49	0	160

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履 修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及 び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者 については1年(修士課程早期修了者等にあっては当該課程における在学期間を含め て3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履 修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習 I、II、II、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位

- (1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、 III、IV、社会工学博士特別研究I、II を除く。) (2) 博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共通専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

■ウス・レン・エンスエギ子はプロ・ジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専 ジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専 門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導

教員の事前許可を得ること (1) 博士前期課程の科目

- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共诵専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

■情報理工学位プログラムは) 学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単

位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目 (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習1 10単位及び同専門 科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得する

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得 すること。

- (1)システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程) (2)博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共诵専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得る رغ=

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワー 学位プログラム科目群-エンバソーメント情報学関連科目-専门科目のうちエンバソーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修

得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- 旧号教員の手前可でした。 (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目

合計(156科目)		0	233	0	77	79	3	49	0	238
小計(12科目)		0	18	0	2	1	0	2	0	26
ライフイノベーション博 士後期研究Ⅲ春	3前		2		2	1		2		26
ライフイノヘ・ーション博 士後期研究III秋	3後		2		2	1		2		26
ライフイノへ・ーション博 士後期演習III春	3前		1		2	1		2		26
ライフイノヘ・ーション博 士後期演習III秋	3後		1		2	1		2		26

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程> 3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修 により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等にあっては当該課程における在学期間を含めて3年) 以上在学すれば足りるものとする。

〈5年一貫制博士課程〉

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修 により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者につ いては3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習 I、II、II、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位

- (1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、 III、Ⅳ、社会工学博士特別研究I、II を除く。)
- (2) 博士前期課程の科目
- 3) 他研究群開設科目
- 4) 学術院共诵専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

■リスク・レジリエンスエ字学位プロクラム(D)
学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。
(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。
(1) 博士前期課程の科目

- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共诵専門基盤科目

■情報理工学位プログラム(D) 学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、 情報理工後期特別演習 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わ

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単 位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導 教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科 目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得するこ

-。 (※)10月入学の学生は、構造エネルギ エ学後期特別研究A、Bの単位を修得す ー工学後期特別演習A、B及び構造エネルキ

- ー T EXTRITION TO A NO BU 単位を修得すること。 さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得 すること。
- (1)システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程) (2) 博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共通専門基盤科目 (5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得るこ

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D) 学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワージ ント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラン科目群のうち他 関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を 修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達 成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修

得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1)大学院共通科目 (2)学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目

【修士取得条件】 学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究書、共和第241年第241年 究基礎力審査に合格すること

ス金妮が番車にも行うのこと。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修 得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目
- ■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち 博士後期インターンシップ1、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単
- (3) 大学院共通科目 1~3単位

(4)ライフイノベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、 大学院共通科目

基礎力審査に合格すること

- 金級の登員に合作すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修 得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。
- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目

■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、
- ((1) デゼブログラム科日辞-ライブイブペーション(生物情報) 関連科目-基礎科目のうち、 博士後期インターンシップ1、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイブペーション(生物情報) 関連科目-専門科目 18単位 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4)ライフイブペーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大
- 学院共通科目

【令和4年度】

【令和3年度】

		T/Z 1	配	ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		+ П/4-Ш	次 1·2·	修	択	由	授	授	師	教	手	担
大	倫生	応用倫理	3後 1·2·		1							2
学院	理命 科·	環境倫理学概論	3後 1·2·		1							2
共通	目環群境	研究倫理	3前 1·2·		1							2
科目	研	生命倫理学	3前		1							10
	究	企業と技術者の倫理	3前		1			1				0
	情	テクニカルコミュニケーショ ン	1·2· 3前		1							1
	報伝	Presentations for General Audiences	1·2· 3前		1							1
	達力・-	異分野コミュニケーショ ンのためのプレゼン テーションバトル	1·2· 3通		2							3
	П ш п П	Global Communication	1·2· 3前		1							3
	ニ ケ ー	Skills Training サイエンスコミュニケーショ	1·2·		1							1
	ーシ	ン概論 サイエンスコミュニケーショ	3前 1·2·		1							1
	ション	ン特論 サイエンスコミュニケータ	3後 1·2·									1
	力	養成実践講座 人文知コミュニケーショ	3休		2							
	養成科目	ン:人文社会科学と 自然科学の壁を 超える	1·2· 3後		1							2
	群	総合資料学: 歴史 文化の高度化研 究とその伝達方	1· 2·3 後		2							3
]	21世紀的中国 — 現代中国的多相	1·2· 3後		1							9
	国際	国際研究プロジェクト	1·2· 3通		1							1
	性養	国際インターンシップ	1.2.		1							1
	成科	地球規模課題と国際社会:食料問題	3通 1·2· 3後		1							4
	目 群	 地球規模課題と国 際社会:海洋環境	1·2· 3後		1							3
		変動と生命地球規模課題と国	1.2.		1							4
		際社会:社会脳 地球規模課題と国	3休 1·2·									
		際社会:感染症·保 健医療問題	3後		1							2
		地球規模課題と国際社会:社会問題	1· 2·3 休		1							1
		地球規模課題と国際社会:環境汚染	1·2· 3後		1							2
		と健康影響 地球規模課題と国	11									
		際社会:環境・エネル キ´ー	2·3 前		1							8
	キャリ	JAPICアトハンスト ディスカッションコースIー 多極化する世界と これからの日本	1·2· 3後		1		1					1
	アマネジ	JAPICアドバンスト ディスカッションコースIIー 次世代モビリティの マーケットデザインと計	1·2· 3前		1		1					1
	メン	算科学 ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1·2· 3休		1							2
	科目	ワークライフミックス - モーハウスに学ぶ゙パラ	1·2· 3前		1							2
	群	ダイムシフト 魅力ある理科教 員になるための生	1·2· 3休		1							9
		物・地学実験 アクセシヒ゛リティリータ゛ー	31∧ 1·2·									
		特論 脳の多様性とセルフ	3前 1·2·		1							8
		マネジメント	3休 1·		1							4
		筑波クリエイティプ・ キャンプ・アドパンスト	1· 2·3 後 1·		1							4
		博士のキャリアパス	· 2·3 前		1							2

			配	Í	单位数	Į.	専	任教	員等	の配	置	兼
	斗目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
Ŀ	Δ77		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		応用倫理	1.2.	שנו	1	Н	ıχ	ıχ	дų	±X.	т.	2
大	倫生	心用性	3後		'							2
学	理命	環境倫理学概論	1·2· 3後		1							2
院共	科・ 目環	研究倫理	1.2.		1							2
通	群境		3前 1·2·		_							40
科 目	· 研	生命倫理学	3前		1							10
_	究	企業と技術者の倫理	1·2· 3前		1			1				0
Ì		テクニカルコミュニケーショ	1.2.		1							1
	情	ン	3前		•							' I
	報	英語発表	1.2.		1							1
	伝 達		3前									
	カ	異分野コミュニケーショ ンのためのプレゼン	1.2.		2							3
		テーションハ・トル	3通		_							
	П ;;;	Global Communication	1 · 2 ·		1							3
	ュ ニ ケー	Skills Training	3前		'							3
	ー ケ	サイエンスコミュニケーショ	1.2.		1							1
		ン概論 サイエンスコミュニケーショ	3前 1·2·		•							·
	ショ	ン特論	3後		1							1
	ュン	サイエンスコミュニケータ	1.2.		2							1
	カ	養成実践講座 人文知コミュニケーショ	3休									
	養 成	ン:人文社会科学と	1.2.		1							6
	科	自然科学の壁を	3後		'							ŭ
	目	超える 総合資料学: 歴史	1.									
	群	文化の高度化研	2.3		2							3
		究とその伝達方 21世紀的中国 —	休 1·2·									
	国	現代中国的多相	3後		1							9
	際	国際研究プロジェクト	1.2.		1							1
	性		3通 1·2·		_							
	養 成	国際インターンシップ	3通		1							1
	科	地球規模課題と国 際社会:食料問題	1·2· 3後		1							4
	目	地球規模課題と国	1.2.									
	群	際社会:海洋環境	3後		1							2
		変動と生命 地球規模課題と国	1.2.									
		際社会:社会脳	3休		1							3
		地球規模課題と国際なる。成功を	1.2.									
		際社会:感染症·保 健医療問題	3後		1							2
		地球規模課題と国	11									ا , ا
		際社会:社会問題	2·3 休		1							1
		地球規模課題と国										
		際社会:環境汚染	1·2· 3後		1							2
		と健康影響 地球規模課題と国	1.									
		際社会:環境・エネル	2.3		1							8
		+ *-	前									
ŀ		JAPIC7ドバンスト		-								
	+	ディスカッションコースIー	1.2.		1		1					1
	ヤ	多極化する世界と	3後		'							'
	リ	これからの日本										
	アマ	JAPICアト・ハ・ンスト テ・ィスカッションコースIII-	1.2.									
	ネ	テクノロシ゛ーとク゛ローハ゛	3前		1		1					1
	ジメ	ルで拓く未来										
	シ	ダイバーシティと	1.2.		1							2
	۲	SOGI/LGBT+ ワークライフミックス -	3休		•							
	科 目	モーハウスに学ぶパラ	1·2· 3前		1							2
	群	ダイムシフト	OBIJ									
		魅力ある理科教 員になるための生	1.2.		1							9
		物·地学実験	3休		'							Ĭ
		アクセシヒ・リティリーダー	1·2·		1							9
		特論 脳の多様性とセルフ	3前 1·2·									
		マネジメント	3休		1							3
		筑波クリエイティブ・	1· 2·3		1							4
		キャンプ・アト・パンスト	後		•							7
		博士のキャリアパス	1· 2·3		1							2
		はするよいいく	前		•							-
			_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

### 12-13															
内部大生と生物進 12-3		-	-				1							4	l
無法生物の世界と 1-2-		É	勺	内部共生と生物進	1 · 2 ·		1							1	l
料学的発見と創造				海洋生物の世界と	1 · 2 ·		1							2	
世					11										l
# 自合ううか 動と位 でからの示容 2・3 前 1		禾	4	性	後		1							3	
での人間・実施器 2・3				き合うか			1			1					
21世紀と宗教 1:2- 3 1 2 3 3 3 4 3 4 4 3 3 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4				ての人間-東西哲			1							8	
### 10					1 · 2 ·		1							4	
Lecture 接				UT-Top	11									ľ	l
サードの					後		1							3	١
本		É			3後		1							2	l
Recompany		ıĽ	``				1							8	l
Pick Pick		盘	옾				1							8	l
日本		F,	芃				1							2	
## 絵画実習 A 12- 3		Ē	Í	ヨーカ゛コース	1 · 2 ·		1							3	
現代アート入門 2・3 前 1		君	¥	絵画実習A	1 · 2 ·		1							1	
************************************				現代アート入門	11		1							1	
大学院体育la 3通 1 3 4 4 3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5															
大学院体育ib				書実習基礎			1							2	
大学院体育Ic 3前 1・2・ 3元 4 4 5				大学院体育Ia			1							4	
大学院体育IIa 3通 1 2 3 3 3 3 3 3 4 4 4 5 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育Ib			1							3	l
大学院体育IIb 3通 1・2・3 3 3 3 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育Ic	3後		1							3	
大学院体育III 3前 1 2 3後 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				大学院体育IIa	3通		1							4	
大学院体育IIIa 3後 1・2・3通 1 3 3 3 3 3 4 4 4 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育IIb	3前		1							3	
大学院体育IIIb 3.通 1 2.2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4				大学院体育IIc			1							3	
大学院体育IIID 3前 1・2・3後 1 3 3 3 3 4 4 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育IIIa	3通		1							4	
大学院体育IVa 1・2・3通 1 3 3 3 3 3 4 4 4 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育IIIb	3前		1							3	
大学院体育IVa 3通 1・2・3前 1 3 3 3 3 3 4 4 4 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育IIIc	3後		1							3	
大学院体育IVb 3前 1・2・3後 1 3 3 3 3 4 4 4 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5				大学院体育IVa	3通		1							4	
大学院体育Va 1·2·3通 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				大学院体育IVb	3前		1							3	
大学院体育Va 3通 1・2・3前 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				大学院体育IVc	3後		1							3	
大学院体育Vc 1・2・3後 1 1 2 0 0 0 132				大学院体育Va	3通		1							4	
大子院体育Vc 3後 1 1 2 0 0 0 132				大学院体育Vb	3前		1							3	
学位プログラム科目 社会工学アアシリテーター育成プログラムII 社会工学アアシリテーター育成プログラムII 社会工学アアシリテーター育成プログラムII 社会工学アアシリテーター育成プレプログラムII 社会工学アアシリテーター育成プレプログラムII 社会工学アアシリテーター育成プレプログラムIV 社会工学では、1・2・3通 1・1 19 18 1 11 2・3通 1・2・3通 1・3 18 1 11 8 1 11 8 1 11 8 11 11 8 11 11 8 11 11															l
学位立プログラム H B					1.2	0		0					0		
A		社会													
プラム 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	プ	エ	科												
ム 科目 日	1 グニ	関					2		19	18	1	11		8	l
社会工学ファシリテー ター育成プレプログラ 1・2・3通 1 1 19 18 1 11 8 1 11 8 1 1 11 8 1 1 11 8 1 1 11 8 1 1 11 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 8 1 1 1 1 1 1 8 1 1 1 1 1 1 8 1 1 1 1 1 1 8 1 1 1 1 1 1 1 8 1	ム	科					1		19	18	1	11			
AIV 社会工学博士特 1通 2 19 18 1 11 8 1 11 8 1 11 8 1 1	目	п		社会工学ファシリテー			1		19	18	1	11			l
別演習 社会工学博士特 1通 2 19 18 1 11 8 1 12 19 18 1 11 8 1 11 8 1 11 8 1 1	群			ΔIV											l
別演習II 1				別演習I											l
別演習III 2 19 18 1 11 8 1 1 1 8 1 1				別演習Ⅱ											l
別演習				別演習III			2		19	18	1	11		8	l
別研究I 社会工学博士特 別研究II 2 19 18 1 11 8				別演習Ⅳ	2通		2		19	18	1	11		8	l
別研究[[3 2 19 18 1 11 8				別研究I	3通		2		19	18	1	11		8	l
小計(11科目) 0 20 0 19 18 1 11 0 8				別研究II	3通				19	18	1	11		8	
				小計(11科目)		0	20	0	19	18	1	11	0	8	ĺ

地域 地域 地域 地域 地域 地域 地域 地域		_													
内部共生物地理			'nп					1							4
無洋生物の世界という。 1 2 3 3 3 3 3 3 3 4 1 2 3 4 4 4 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			的		内部共生と生物進	1 · 2 ·		1							1
Pick 1					海洋生物の世界と	1 · 2 ·		1							2
計画															
計画			科		性	3前		1							3
マの人間・東西哲 学からの考察 2:世紀と宗教 2:3 1 2 3 3 3 3 4 4 4 4 4 3 3 3 3 3 4 5 3 3 4 5 4 5								1			1				
### Photop ### Photo								1							7
					学からの考察										
Lecture 後						3前		1							4
型流 大学院体育 II 2 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 1 1 2 3 3 3 3 3 3					Academist's	2.3		1							3
おして						1.2.		1							2
## 23-15-19-32/アート& 32-2 1 1 2-3 3						1 · 2 ·		1							8
形成 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			_		コミュニケーションアート&	1 · 2 ·		1							7
計画			形			1 · 2 ·									2
## 絵画実習A 12-3 前 1			科												
現代アート入門 1															
大学院体育 18						11									
大学院体育 1・2・					現代アート入門			1							1
大学院体育ID 1-2-3億 1 2-36 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3					書実習基礎			1							2
大学院体育ID 1-2- 3後 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 5 5 5 5 5					十 学院			,							,
大学院体育 1・2・3後															-
大学院体育 a 1-2-3通 1 1 1 3 3 3 3 4 4 4 4 5 5 5 5 5 5															
大学院体育 1 1 2 3 3 3 3 3 5 5 5 5 5															
大学院体育IIc 1.2: 3後 1 3 4 4 4 5 7 5 7 5 7 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1															-
大学院体育IIIa 1.2-3.3面 1 3 3 3 3 3 3 3 4 5 3 3 3 3 5 4 5 5 5 5 5															
大学院体育IIIb 1:2:3前 大学院体育IVa 3:4															
大学院体育IIIc 1:2: 3後 大学院体育IVa 3:3.6 大学院体育IVa 3:3.6 大学院体育IVb 1:2: 3:3.6 大学院体育IVc 3:3.6 大学院体育Vc 3:3.6 大															-
大学院体育IVID 3後 1・2・3通 1 3・2・3・3・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・															
大学院体育IVb 3 in 大学院体育IVb 3 in 大学院体育IVb 3 in 大学院体育IVb 3 in 大学院体育Vb 1 in 1 i						3後									
大学院体育IVb 3前 大学院体育IVc 3:6						3通									-
大学院体育Va 3後 大学院体育Va 1·2·3 ii 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3						3前									
大学院体育Vb 3.通 大学院体育Vb 1.2·3 in 1 2·3 in						3後									
大学院体育Vo 3前 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3						3通									-
大学院体育Vc 3後 1 1 2 0 0 0 135						3前									
学位プログラム社会工学アンリテーター育成プログラムII 社会工学アンリテーター育成プログラムII 社会工学アンリテーター育成プログラムII 社会工学アンリテーター育成プログラムII 社会工学アンリテーター育成プログログラムII 社会工学アンリテーター育成プログログラムII 社会工学アンリテーター育成プレプログラムII 社会工学下シリテーター育成プレプログラムII 社会工学下シリテーター育成プレプログラムII 社会工学下シリテーター育成プレプログラムII 社会工学下シリテーター育成プレプログラムII 17 19 1 8		\vdash		-			n		n	1	2	n	n	n	
学位プログラム科目群 社会工学ファシリテーター育成プログラムI 社会工学ファシリテーター育成プログラムII 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII 社会工学博士特別演習III 社会習II 社会習II 社会習II 社会習III 社会習III 社会可容III 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	H	+			社会工学インターン		U		U					U	
日 学	学位	· 社		す 「	社会工学ファシリテー	1.2							_		
グラム 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目				4	社会工学ファシリテー	1.2									
大計目目群 ター育成プレプログラムIII 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIV 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習IV 社会工学博士特別研究II 社会工学博士特別研究II 社会工学博士特別研究II 社会工学博士特別研究II 社会工学博士特別研究II 社会工学博士特別研究II 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	ク	翼	1	-				'		''	18	'	٥		3
社会工学ファシリテー	L	、科	ŀ		ター育成プレプログラ			1		17	19	1	8		
AIV 社会工学博士特別演習II 1前 2 17 19 1 10 10 10 10 10 10	ΙE				社会工学ファシリテー			1		17	10	1	Д		
別演習I 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習II 社会工学博士特別演習IV 社会工学博士特別所究II 社会工学博士特別所究II 社会工学博士特別所究II	村				ΔIV	3通				''	10	<u>'</u>			
別演習II					別演習I	1前		2		17	19	1	10		10
別演習III 2 17 19 1 10 社会工学博士特別演習IV 2後 2 17 19 1 10 10 社会工学博士特別研究I 3前 2 17 19 1 10 10 社会工学博士特別研究II 3後 2 17 19 1 10 10 別研究II 3後 2 17 19 1 10 10					別演習Ⅱ	1後		2		17	19	1	10		10
社会工学博士特別演習IV 2後 社会工学博士特別研究I 3前 社会工学博士特別研究I 3後 2 17 19 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10						2前		2		17	19	1	10		10
社会工学博士特別研究I 3前 2 17 19 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1					社会工学博士特	2後		2		17	19	1	10		10
社会工学博士特 3後 2 17 19 1 10 10					社会工学博士特	3前		2		17	19	1	10		10
					社会工学博士特	3後		2		17	19	1	10		10
		L					0	20	0	17	19	1	10	0	10

		T										_
IJ	専	リスク・レジリエンス工学博士特別講義	1·2· 3通		1			1				1
スク	門科	(セキュリティ) リスク・レシ・リエンスエ	1.2.									
・ レ	目	学博士特別講義(都市防災・リスク情	3通		1			1				1
ジリ		リスク・レジリエンス工 学博士特別講義	1·2· 3通		1							9
ェン		(ビジネスリスク) リスク・レジリエンスエ	1.2.		2		8	4		7		18
スエ		学博士特別演習リスク・レジリエンスエ	3通 1·2·		6		9	4		7		18
学関		学博士特別研究 リスク・レシ・リエンス・ケー	3通 1·2·		1		8	4		7		16
連 科		リスク・レシ・リエンスエ	3通 1·2·		2		8	4		7		4
目		学博士PBL演習 リスク・レジ・リエンスエ 学博士・ハイ・バッコ [®]	3通 1·2·		1		8	4		7		4
		学博士インターンシップ リスク・レシ・リエンスエ 学様士・ハイ・バップ	3通 1·2·		2		8	4		7		4
		学博士インターンシップ リスク・レシ・リエンスエ 学博士プロジェクレエエ	3通 1·2·		2		8	4		7		4
		学博士ブロジェクト研究 リスク・レジリエンスエ	3通				0	•		′		4
		学博士特別講義 (情報知能災害リス クマネシ・メント)	1· 2·3 後		1			1				3
		小計(11科目)		0	20	0	9	4	0	7	0	27
	専門	システムテ゛サ゛イン論	1· 2·3 前		1							1
	科目	ネットワーク特論	1· 2·3 後		1							1
	(昼夜	プ [°] ロシ゛ェクト・マネシ゛メント 論	1· 2·3 前		1							1
)	情報マネシ・メント	1· 2·3 後		1							1
		情報検索特論	1· 2·3 前		1							1
		知的ドキュメント管理論	1· 2·3 前		1							1
		知能情報システム	1· 2·3 後		1							1
		複雑システム論	1· 2·3 後		1							1
		小計(8科目) 異分野研究室(ン	1.2.	0	8	0	0	0	0	0	0	4
情	専門	ターンシップ【 異分野研究室イン	3通 1·2·		1			1				
報理工	科	ターンシップ。II 研究型インターンシップ。	3通 1·2·		1			1				
工関連	目	I 研究型インターンシップ	3通 1·2·		1			1				
連科目		II 情報理工後期特	3通 1通		6		25	30	2	20		8
		別研究 情報理工後期特	1通		2		25	30	2	20		8
		別演習A 情報理工後期特	1.2.		2		25	30	2	20		8
		別演習B 情報理工後期特	3通		3		25	30	2	20		8
		別研究s 情報理工後期特	1後		3		25	30	2	20		8
		別研究f 情報理工後期特	1前		1		25	30	2	20		8
		別演習As 情報理工後期特 別演習Af	1後		1		25	30	2	20		8
		情報理工後期特別演習Bs	1· 2·3 前		1		25	30	2	20		8
		情報理工後期特 別演習Bf	1· 2·3 後		1		25	30	2	20		8
		바람(40원 단)			0.1	_	07	00	•	00	_	Ĺ
		小計(13科目)		0	24	0	25	30	2	20	0	8

IJ	専	リスク・レジ・リエンス工 学博士特別講義 (セキュリティ)	1·2· 3通		1			1				1
スク・レ	門科目	リスク・レシ・リエンス工 学博士特別講義 (都市防災・リスク情	1·2· 3通		1			1				1
レジリ		リスク・レシ・リエンスエ 学博士特別講義	1·2· 3通		1							9
エンス		(ビジネスリスク) リスク・レジリエンスエ 学博士特別演習	1·2· 3通		2		7	5		7		16
ヘエ学		リスク・レジ・リエンスエ 学博士特別研究	1·2· 3通		6		7	5		7		16
関連		リスク・レジ・リエンス・ケーススタティ	1·2· 3通		1		7	5		7		16
科 目		リスク・レジ・リエンス工 学博士PBL演習 リスク・レジ・リエンスエ	1·2· 3通 1·2·		2		7	5		7		4
		学博士インターンシップ リスク・レシ・リエンスエ	3通 1·2·		2		7	5		7		4
		学博士インターンシップリスク・レシ・リエンスエ	3通 1·2·									
		学博士プロジェクト研究 リスク・レジリエンスエ	3通		2		7	5		7		4
		学博士特別講義 (情報知能災害リス クマネジメント)	1· 2·3 後		1			1				3
		小計(11科目)		0	20	0	7	5	0	7	0	25
	専門	システムテ゛サ゜イン論	1· 2·3 前		1							1
	科目	ネットワーク特論	1· 2·3 後		1							1
	昼夜	プ [゚] ロシ゛ェクト・マネシ゛メント 論	1· 2·3 前		1							1
)	情報マネジメント	1· 2·3 後 1·		1							1
		情報検索特論	2·3 前		1							1
		知的ドキュメント管理論	1· 2·3 前		1							1
		知能情報システム	1· 2·3 後 1·		1							1
		複雑システム論	2·3 後		1							1
		小計(8科目) 異分野研究室イン	1.2.	0	8	0	0	0	0	0	0	4
情報	専門	ターンシップ』 異分野研究室イン	3通 1·2·		1			1				
理 工	科目	ターンシップ。II 研究型インターンシップ。	3通 1·2· 3通		1			1				
関連		I 研究型インターンシップ II	3通 1·2· 3通		1			1				
科 目		情報理工後期特 別研究	1通		6		25	27	3	24		6
		情報理工後期特別演習A	1通		2		25	27	3	24		6
		情報理工後期特別演習B	1·2· 3通		2		25	27	3	24		6
		情報理工後期特別研究s 情報理工後期特	1前		3		25	27	3	24		6
		別研究f 情報理工後期特	1後		3		25 25	27	3	24		6
		別演習As 情報理工後期特 別演習Af	1般		1		25	27	3	24		6
		情報理工後期特別演習Bs	1· 2·3 前		1		25	27	3	24		6
		情報理工後期特 別演習Bf	川 1· 2·3 後		1		25	27	3	24		6
		小計(13科目)		0	24	0	25	27	3	24	0	6
		THE PROPERTY OF		_	1	٦	3	-	٦	1	٦	_

∕ -⊓	+	知能機能システム特別研究A	1·2· 3通		4		21	13	0	14		16
知能	専門な	知能機能システム特別研究B	1·2· 3通		2		21	13	0	14		16
機能	科目	知能機能システム特	1 · 2 ·		2		21	13	0	14		16
シス		別研究C 知能機能システム学	3通 1·2·									
テム		術雑誌論文発表 演習I	3通		2		21	13	0	14		16
関連		知能機能システム学 術雑誌論文発表	1·2· 3通		2		21	13	0	14		16
科目		演習II 知能機能システム国										
п		際会議論文発表 演習	1·2· 3通		2		21	13	0	14		16
		知能機能システムコラ ボラトリー演習Ⅲ	1通		1		21	13	0	14		16
		知能機能システムコラ ボラトリー演習IV	2通		1		21	13	0	14		16
		知能機能システム計 画調書作成演習III	1通		1			3		7		
		知能機能システム計画調書作成演習	2通		1			3		7		
		小計(10科目)		0	18	0	21	13	0	14	0	16
構	車	構造エネルキ・一工学 後期特別演習	1通		2		10	13		7		10
造工	門科	構造エネルキ・一工学 後期特別研究	1通		6		10	13		7		10
ネル	Ħ	構造エネルキ・一工学	1前		1		10	13		7		10
ギー		後期特別演習A 構造エネルキ・一工学										
· 工学		後期特別演習B	1後		1		10	13		7		10
丁関連		構造エネルキー工学 後期特別研究A	1前		3		10	13		7		10
科目		構造エネルキー工学 後期特別研究B	1後		3		10	13		7		10
П		小計(6科目)	1.0	0	16	0	10	13	0	7	0	10
ェ	専	エンパワーメント情報学原論	1·2· 3前		1		17	13	0	14		0
ンパ	門科	エンパワーメント情報学 特別演習I	1通		2		17	13	0	14		0
ワー	目	エンハ・ワーメント情報学 特別演習II	2通		2		17	13	0	14		0
メン		エンパワーメント情報学 特別研究I	1通		4		17	13	0	14		0
ト情		エンパワーメント情報学 特別研究II	2通		4		17	13	0	14		0
報学		エンパワーメント情報学 特別研究III	3通		4		17	13	0	14		0
関連		エンパリーメント情報学 特別研究IV	4通		4		17	13	0	14		0
科目		エンパワーメント情報学 特別研究V	5通		4		17	13	0	14		0
1		エンパ・ワーメントプロジェ クト研究	1·2· 3通		2					1		
		エンパワーメント学術雑	1·2· 3·4·		2		17	13	0	14		0
		誌論文発表演習 エンパワーメント国際会	5通 1·2·									
		議·学術雑誌論文 発表演習	3·4· 5通		2		17	13	0	14		0
		アントレプレナーシップ 演習	3前		1		1			0		1
		エ エンジニアリングレジデ ンス実習	4通		1		1			0		
		エンパ・ワーメント研究発 表演習	1·2 通		1		17	13	0	14		0
		小計(14科目)		0	34	0	17	13	0	14	0	1
ラ	基	人を対象とした研究:基盤編	1通		1							2
イフ	一礎科	博士後期ライフイノ ベーションセミナー	1前		1							10
イノ	Ħ	博士後期インターン シップI	1·2· 3通		1							2
、ベー		博士後期インターン シップII	3通		1							2
シ		小計(4科目) ライフイノヘーション博		0	4	0	0	0	0	0	0	14
ョン	専	士後期演習I秋	1後		1		2	1		1		13
(生	門科	ライフイノヘ・ーション博士後期演習I春	1前		1		2	1		1		13
物情	目	ライフイノヘーション博士後期研究「秋	1後		2		2	1		1		13
		ライフイノヘ・ーション博 士後期研究I春	1前		2		2	1		1		13
報)		ニノコノノム゜ とっい 井甫	2後		1		2	1		1		13
		ライフイノベーション博 士後期演習II秋	21久									
報)関			2前		1		2	1		1		13
報)関連科		士後期演習II秋 ライフイノベーション博			1 2		2	1		1		13 13

		左口台に上級台に2.ラーノルナ	1 ^					1				
知	車	知能機能システム特別研究A	1·2· 3通		4		19	12	0	16		16
能機	門科	知能機能システム特別研究B	1·2· 3通		2		19	12	0	16		16
能	目	知能機能システム特別研究C	1·2· 3通		2		19	12	0	16		16
シス		知能機能システム学術雑誌論文発表	1.2.		2		19	12	0	16		15
テム		演習I 知能機能システム学	3通		_				ľ			ľ
関連		術雑誌論文発表	1·2· 3通		2		19	12	0	16		15
科目		演習II 知能機能システム国	1.2.		_							١
		際会議論文発表 演習	3通		2		19	12	0	16		18
		知能機能システムコラ ボラトリー演習Ⅲ	1通		1		19	12	0	16		18
		知能機能システムコラ ボラトリー演習IV	2通		1		19	12	0	16		18
		知能機能システム計 画調書作成演習III	1通		1			2		9		
		知能機能システム計 画調書作成演習	2通		1			2		9		
		小計(10科目)		0	18	0	19	12	0	16	0	16
構	専	構造エネルキー工学 後期特別演習	1通		2		9	13		9		9
造 エ	門科	構造エネルキー工学 後期特別研究	1通		6		9	13		9		9
ネル	目	構造エネルキ・一工学	1前		1		9	13		9		9
ギー		後期特別演習A 構造エネルキ・一工学	1 66				۰	10				١
工学		後期特別演習B 構造エネルキー工学	1後		1		9	13		9		9
· 関連		後期特別研究A	1前		3		9	13		9		9
科目		構造エネルキ・一工学 後期特別研究B	1後		3		9	13		9		9
1		小計(6科目)	1.0.	0	16	0	9	13	0	9	0	9
エ	専	原論	3前		1		15	12	0	16		1
ンパ	門科	エンパワーメント情報学 特別演習I	1通		2		15	12	0	16		1
ワー	目	エンハ・ワーメント情報学 特別演習II	2通		2		15	12	0	16		1
メン		エンパワーメント情報学 特別研究I	一进		4		15	12	0	16		1
ト情		エンハ・ワーメント情報学 特別研究II	2囲		4		15	12	0	16		1
報学		エンパワーメント情報学 特別研究III	3週		4		15	12	0	16		1
関連		エンパワーメント情報学 特別研究IV	4通		4		15	12	0	16		1
科目		エンパワーメント情報学 特別研究V	5通		4		15	12	0	16		1
П		ェンパワーメントプロジェ 外研究	1·2· 3通		2					1		
		エンパワーメント学術雑	1·2· 3·4·		2		15	12	0	16		1
		誌論文発表演習 エンパワーメント国際会	5通 1·2·									
		議·学術雑誌論文 発表演習	3·4· 5通		2		15	12	0	16		1
		アントレプレナーシップ演 習			1		1			0		
		エンジニアリングレジデ ンス実習	4通		1		1			0		
		エンパワーメント研究発 表演習	1·2 通		1		15	12	0	16		1
		小計(14科目)	Ē	0	34	0	15	12	0	16	0	1
ラ	基	人を対象とした研究:基盤編	1通		1							2
イフ	- 礎 科	博士後期ライフイノ ベーションセミナー	1前		1							10
イノ	Ħ	博士後期インターン シップӀ	1·2· 3通		1							2
ベー		博士後期インターン シップII	3通		1							1
ショ		小計(4科目) ライフイノヘ・ーション博		0	4	0	0	0	0	0	0	14
ン	専	士後期演習I秋 ライフイノヘーション博	1後		1		1			2		9
生物	門科	士後期演習I春 ライフイノベーション博	1前		1		1			2		9
物情報	目	ナ後期研究I秋 ライフイノベーション博	1後		2		1					5
報)		士後期研究I春	1前		2		1					5
関連		ライフイノヘーション博士後期演習II秋	2後		1		1			2		9
科目		ライフイノヘーション博士後期演習II春	2前		1		1			2		9
	ĺ	ライフイノヘーション博	2後	I	2		1					5
		士後期研究II秋 ライフイノベーション博		1								1

合計(153科目)		0	229	0	80	77	3	56	0	229
小計(12科目)		0	18	0	2	1	0	1	0	13
ライフイノベーション博 士後期研究Ⅲ春	3前		2		2	1		1		13
ライフイノベーション博 士後期研究Ⅲ秋	3後		2		2	1		1		13
ライフイノベーション博 士後期演習Ⅲ春	3前		1		2	1		1		13
ライフイノへ゛ーション博 士後期演習Ⅲ秋	3後		1		2	1		1		13

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

< 博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履 修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及 び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者 については1年(修士課程早期修了者等にあっては当該課程における在学期間を含め て3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履 修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習 I、II、II、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位 以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- 1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習Ⅰ、Ⅱ、 III、IV、社会工学博士特別研究I、II を除く。) (2) 博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共诵専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

■ウス・レン・エンスエギ子はプロ・ジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専 ジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専 門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導

教員の事前許可を得ること (1) 博士前期課程の科目

- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共诵専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群一情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、 合わせて10単位以上を修得すること。 (※)10月入学の学生は、情報理工後期特別研究s及びf、情報理工後期特別演習/

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単 位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導 教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共涌科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習1 10単位及び同専門 科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得する

(※) 10月入学の学生は、構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別研究A、Bの単位を修得すること。

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得 すること

- (1)システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程)
- (2) 博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共通専門基盤科目 (5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得る _ہ_

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワー メント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち 他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以 上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、 最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修

得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目

合	計(153科目)		0	229	0	74	75	4	63	0	224
	小計(12科目)		0	18	0	1	0	0	2	0	9
	ライフイノベーション博 士後期研究Ⅲ春	3前		2		1					5
	ライフイノベーション博 士後期研究III秋	3後		2		1					5
	ライフイノベーション博 士後期演習Ⅲ春	3前		1		1			2		9
	ライフイノベーション博 士後期演習Ⅲ秋	3後		1		1			2		9

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修 により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等にあっては当該課程における在学期間を含めて3年) 以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修 により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者につ いては3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習 I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位 以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- 1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習Ⅰ、Ⅱ、 III. IV. 社会工学博士特別研究I、II を除く。)
- (2) 博士前期課程の科目
- 3) 他研究群開設科目
- 4) 学術院共诵専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

■ ウィン・レットコンスエデーは、ロックス(ロ) 学位プログラム科目群・リスク・レジリエンス工学関連科目・専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単

(注) 「中心が気味行きな」をできる。ただし、 履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。 (1) 博士前期課程の科目

- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共诵専門基盤科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究. 情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わ

せて10単位以上を修得すること。 (<mark>※)10月入学の学生は、情報理工後期特別研究s及びf、情報理工後期特別演習</mark>/

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単 位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導 教員の事前許可を得ること。

- 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科 目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得するこ

-。 (※)10月入学の学生は、構造エネルギー エ学後期特別研究A、Bの単位を修得する ー工学後期特別演習A、B及び構造エネルキ

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得 すること。

- (1)システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程) (2) 博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共通専門基盤科目 (5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得るこ

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)

学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワー ント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他 関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を 修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達 成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修

得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目

【修士取得条件】 学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究書、共和第241年第241年 究基礎力審査に合格すること

ス金妮が番車にも行うのこと。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修 得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目
- ■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち 博士後期インターンシップ1、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単

121 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4)ライフイノベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、 大学院共通科目

基礎力審査に合格すること

- 金級の登員に合作すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修 得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。
- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目

■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、
- ((1) デゼブログラム科日辞-ライブイブペーション(生物情報) 関連科目-基礎科目のうち、 博士後期インターンシップ1、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイブペーション(生物情報) 関連科目-専門科目 18単位 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4)ライフイブペーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大
- 学院共通科目

【令和2年度】

_	דויית <u>ב</u>	年度』			* 17 *		-	IT #4	/	. ⊕ ±1	<u> </u>	兼
	科目	授業科目の名称	配当	必	単位数 選	自	教	准	貝寺講	の配助	直 助	任・
	区分		年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	/A #-	応用倫理	1·2· 3後		1							2
大学	倫生 理命	環境倫理学概論	1·2· 3後		1							2
院共	科· 目環	研究倫理	1.2.		1							2
通科	群境	生命倫理学	3前 1·2·		1							10
目	研	企業と技術者の倫	3前 1·2·		1			1				0
	究	理 テクニカルコミュニケーショ	3前 1·2·					'				
	目情	צ	3前 1·2·		1							1
	群報伝	英語発表異分野コミュニケーショ	3前		1							1
	達力	ンのためのプレゼン	1·2· 3通		2							3
		テーションハ・トル Global	1.2.									
	11	Communication Skills Training	3前		1							2
	_ _	サイエンスコミュニケーショ ン概論	1·2· 3前		1							1
	ケー	サイエンスコミュニケーショ	1.2.		1							1
	ショ	ン特論 サイエンスコミュニケータ	3後 1·2·		2							1
	ン	養成実践講座 人文知コミュニケーショ	3休									ļ '
	力 養	ン:人文社会科学と 自然科学の壁を	1·2· 3後		1							6
	成 科	超える	OIX									
	- ''	21世紀的中国 —	1.2.		1							9
	国際	現代中国的多相	3後 1·2·		1							1
	性	国際研究プロジェクト	3通 1·2·									
	養 成	国際インターンシップ 地球規模課題と国	3通 1·2·		1							1
	科目	際社会:食料問題	3後		1							1
	群	地球規模課題と国際社会:海洋環境	1·2· 3後		1							2
		変動と生命 地球規模課題と国	1.2.									
		際社会:社会脳 地球規模課題と国	3休		1							3
		際社会:感染症·保	1·2· 3後		1							2
		健医療問題 地球規模課題と国	1 · 2 ·		1							1
		際社会:社会問題 地球規模課題と国	3後		ľ							ľ
		際社会:環境汚染 と健康影響	1·2· 3後		1							2
		地球規模課題と国	1 · 2 ·									_
		際社会:環境・エネル キ´ー	3休		1							5
		JAPICアドバンスト										
	+	ディスカッションコースӀー	1·2· 3後		1		1					
	ヤリ	流動化する世界と これからの日本	の技									
	アマ	JAPICアト・ハ・ンスト テ・ィスカッションコースIII-	1 · 2 ·		,		1					
	ネ	テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	3前		1		'					
	ジメ	ダイバーシティと	1·2· 3休		1							1
	ント	SOGI/LGBT+ ワークライフミックス -	31A 1·2·									
	科目	モーハウスに学ぶパラ ダイムシフト	3前		1							2
	群	魅力ある理科教 員になるための生	1.2.		1							10
		物·地学実験	3休		ľ							"
		アクセシヒ゛リティリータ゛ー 特論	1·2· 3前		1							8
		脳の多様性とセルフ マネシ・メント	1·2· 3休		1							2
		筑波クリエイティプ・	1 · 2 · 3		1							4
		キャンプ・アト・ハ・ンスト	後 1・									
		博士のキャリアパス	2·3		1							4
			-					_				

			生物多様性と地球 環境	1·2· 3前		1							4
	矢		^{環境} 内部共生と生物進										
	基		化	3前		1							1
	盘		海洋生物の世界と 海洋環境講座	1·2· 3休		1							2
	开厅		科学的発見と創造	1.2.		1							2
	禾	4	性 自然災害にどう向	3前 1·2·		<u>'</u>							-
	君		き合うか	3前		1			1				
	1	+	「考える」動物とし	1 · 2 ·									_
			ての人間-東西哲 学からの考察	3休		1							5
			21世紀と宗教	1.2.		1							4
			UT-Top	3前 1・		'							•
			Academist's	2.3		1							3
			Lecture	後 1·2·									
	į	∌	塑造実習	3後		1							2
	ıį	``	コミュニケーションアート& デザインA	1·2· 3前		1							8
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		コミュニケーションアート&	1.2.		1							7
	H		デザインB	3後		'							,
	月		日本画実習	1·2· 3前		1							2
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ヨーカ゛コース	1.2.		1							1
	君		公正中羽 A	3前 1·2·									
			絵画実習A	3前		1							1
			現代アート入門	1· 2·3		1							1
				後									
			上 当 哈 什 去 :	1 · 2 ·									١,
			大学院体育Ia	3通		1							4
			大学院体育Ib	1·2· 3前		1							3
			大学院体育Ic	1.2.		1							3
			上 当 哈 什 去 !!	3後 1·2·									١,
			大学院体育IIa	3通		1							4
			大学院体育IIb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育IIc	1.2.		1							3
				3後 1·2·									
			大学院体育IIIa	3通		1							4
			大学院体育IIIb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育IIIc	1.2.		1							3
				3後 1·2·									
			大学院体育IVa	3通		1							4
			大学院体育IVb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育IVc	1.2.		1							3
				3後 1·2·									
			大学院体育Va	3通		1							4
			大学院体育Vb	1·2· 3前		1							3
			大学院体育Vc	1.2.		1							3
			小計(62科目)	3後	0	64	0	1	2	0	0	0	123
			社会工学インターン	1.2	Ť	2		17	20	1	8		8
学	社	専	シップ	通		–		17	20	'	٥		°
位プ	会工	門科	社会工学ファシリテー ター育成プログラムエ	1·2 通		2		17	20	1	8		8
	上学	目目	社会工学ファシリテー	1.2		2		17	20	1	8		8
グ	関		ター育成プログラムII 社会工学ファシリテー	通		_				·			
ラム	連科		ター育成プレプログラ	1·2· 3通		1		17	20	1	8		
科	目		AIII	3Щ									
目群			社会工学ファシリテー ター育成プレプログラ	1.2.		1		17	20	1	8		
矸			ΔIV	3通						-	-		
			社会工学博士特 別演習I	1前		2		17	20	1	10		9
			社会工学博士特	1後				17	20	1	10		6
			別演習Ⅱ	□仮		2		17	20	1	10		9
			社会工学博士特 別演習Ⅲ	2前		2		17	20	1	10		9
			社会工学博士特	2後		2		17	20	1	10		9
			別演習Ⅳ 社会工学博士特										ľ
			和安工子博工符 別研究I	3前		2		17	20	1	10		9
			社会工学博士特	3後		2		17	20	1	10		9
			別研究Ⅱ 小計(11科目)		0	20	0	17	20	1	10	0	9
•			- HI V. 177 H/		<u> </u>		Ľ			•	.,	Ľ	•

リスク・レジリエンス工学関連科目 - 専門科目(昼夜) 専門科目 専門科目	リステム工義 「サンジャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャンシャ	1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3	0	1 1 1 2 6 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	8 8 8 8 8 8	1 1 5 5 5 5 5 5 5 5	0	6 6 6 6	0	1 1 9 16 16 4 4 4 3 25 1 1 1 1 1 1
・ウ・レジリエンス工学関連科目	学術が、リス学の、 エ習工で、 アット・マネシ、 大・ 論 報 の かっかっか	3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.	0	1 2 6 1 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1	0	8 8 8 8 8	5 5 5 5 5 5	0	6 6 6 6	0	9 16 16 4 4 4 3 25 1 1
ジリエンス工学関連科目 専門科目(昼夜) 専門科目 専門科目	学に対しています。 学生の はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	3 1-2 通 2 通 2 通 2 通 2 通 2 通 1 3 1 2	0	2 6 1 2 1 2 2 1 1 1 1 1	0	8 8 8 8 8	5 5 5 5 5	0	6 6 6 6	0	166 166 4 4 4 4 3 25 1 1 1
シスエ学関連科目 専門科目(昼夜) 専門科目 専門科目	学は、	31-331-331-331-331-331-331-331-331-331-	0	6 1 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1	0	8 8 8 8 8	5 5 5 5 5	0	6 6 6 6	0	166 4 4 4 4 3 2 1 1 1 1
工学関連科目 専門科目(昼夜) 専門科目 専門科目	学は、サンシーリススターリスク・レン・リエンスターリスク・レン・リエンススターリスク・レン・リエンススターリスク・レン・リスティーリス・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・	3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 2 後 1 2 前 1 2 6 1 2 3	0	1 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	8 8 8	5 5 5 5	0	6 6 6	0	16 4 4 4 4 3 2 2 5 1 1 1 1 1 1 1 1
関連科目 専門科目(昼夜) 専門科目 事門科目	ススタディリスク・レジ・リエンス工学はエアBL演算とリスク・レジ・リエンス工学はエインターンシップ・リスク・レジ・リエンスエ学はエインターン・ジリエンスエ学博士ブ・ロジェクト・ファークを開発して、「一般のでは、アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・	31-2通 2通 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-2 前 1-2 前 1-2 前 1-2 前 1-3 前 1	0	2 1 2 2 1 1 1 1 1	0	8 8 8	5 5 5 5	0	6 6 6	0	4 4 4 3 2 1 1 1
専門科目(昼夜) 専門科目 専門科目	学博士PBL演習リスケ・レジリエンスエン学はオインターンシェンスンンエン学はオインターンシェン 学博士インターンシェン 学博士 アロジェクト リスケーン・リエンスエ 学博士特別 (情報知能災害リスケマネジ・メント) 小計(11科目) システムデ・サ・イン論 オットワーク特論 アロジェクト・マネジ・メント 情報 検索 特論 知論	3 1-2 3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1-3 1	0	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	0	8 8	5 5 5	0	6	0	4 4 3 25 1 1 1
事門科目(昼夜)	学博士インターンシップ リスケ・レジ・リエンスエ 学博士インターンシップ リスケ・レジ・リエンスエ 学博士ブ・ロジ・エク・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・	3通1・2・3 1・2・3 1・2・3 前・2・3 前・2・3 前・2・3 前・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3・3 1・3 1	0	2 2 1 1 1 1 1	0	8	5 5	0	6	0	4 4 3 2 1 1 1
門科目(昼夜)	学博士パターンシップ リスケ・レジ・リエンスエ 学博士プ・ロジェクト研究 リスケ・レジ・リエンスエ 学博士特別講義 (情報知能) 小計(11科目) システムテ・サ・イン論 ネットワーク特論 プ・ロジェクト・マネジ・メント 情報検索特論 知的ト・キュメント管理 論	3通 1-2-3 1-2-3 前 1-2-3 前 1-2-3 前 1-2-3 前 1-2-3 前 1-3	0	2 1 20 1 1 1 1 1 1 1 1	0	8	5	0	6	0	4 3 25 1 1 1
門科目(昼夜)	学博士プロジェクト研究 リスケーシャリエンス工学博士特別議議 (情報知能災害リスクスネジ・メント) 小計(11科目) システムテ・サ・イン論 ネットワーク特論 プロジェクト・マネジ・メント 情報検索特論 知的ト・キュメント管理 論	3通 1·2·3	0	1 1 1 1 1	0		1	0		0	3 25 1 1 1
門科目(昼夜)	学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジ・メント) 小計(11科目) システムテ・サ・イン論 ネットワーク特論 プロジェクト・マネジ・メント 情報検索特論 知的ト・キュメント管理 論	2·3 後 1· 2·3 前 1· 3· 3· 1· 3· 3· 1· 3· 3· 1· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3·	0	1 1 1 1	0	8		0	6	0	1 1 1
門科目(昼夜)	小計(11科目) システムテ・サ・イン論 ネットワーク特論 プロシ・ェクト・マネシ・メント 論 情報マネシ・メント 情報検索特論 知的ト・キュメント管理 論	2・3 前 1・3 後 1・3 前 1・3 前 1・3 前 1・3	0	1 1 1 1	0	8	5	0	6	0	1 1 1
門科目(昼夜)	ネットワーク特論 プロジェクト・マネジ・メント 論 情報マネジ・メント 情報検索特論 知的ト・キュメント管理 論	2・3 前 1・3 後 1・3 前 1・3 前 1・3 前 1・3		1 1 1							1 1
	プロジェクト・マネジ・メント 論 情報マネジ・メント 情報検索特論 知的ト・キュメント管理 論	2.3 後1.3 前1.2 後1.3 前1.3 前1.		1 1 1							1
夜)	情報マネシ・メント情報検索特論知的ト・キュメント管理論	2.3 前 1.2.3 前 1.2.前 1.		1							1
報 型 型 車 科 目	情報検索特論 知的ドキュメント管理 論	後 1·3 1·3 1·3 1·		1							
報 型 型 車 科 目	知的ドキュメント管理論	前 1· 2·3 前 1·									1
報 型 型 車 科 目	論	2·3 前 1·		1					l	1	
報 型 型 車 科 目	知能情報システム										1
報 型 型 車 科 目		後 1·		1							1
報 型 型 車 科 目	複雑システム論	2·3 後		1							1
報 型 型 車 科 目	小計(8科目) 異分野研究室イン	1.2.	0	8	0	0	0	0	0	0	4
理工関連科	ターンシップ』 異分野研究室イン	3通 1·2·		1			1				
車科	ターンシップⅡ 研究型インターンシップ			1			1				
	II 研究型インターンシップ II	3通 1·2· 3通		1			1				
	間 情報理工後期特別研究	1通		6		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別演習A	1通		2		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別演習B	1·2· 3通		2		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別研究s	1前		3		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別研究f	1後		3		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別演習As	1前		1		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別演習Af	1後		1		24	27	3	20		6
	情報理工後期特別演習Bs	1· 2·3 前		1		24	27	3	20		6
	情報理工後期特 別演習Bf	1· 2·3 後		1		24	27	3	20		6
	<u>-</u>						1	1			_

知	車	知能機能システム特別研究A	1·2· 3通		4		17	12	1	15		15
能	可門科	知能機能システム特別研究B	1·2· 3通		2		17	12	1	15		15
機能、	目	知能機能システム特別研究C	1·2· 3通		2		17	12	1	15		15
シス		知能機能システム学術雑誌論文発表	1.2.		2		17	12	1	15		14
テム		演習I 知能機能システム学	3通		_		· '	12	'	10		14
関連		術雑誌論文発表	1·2· 3通		2		17	12	1	15		14
科目		演習II 知能機能システム国	1.2.					40		45		
		際会議論文発表 演習	3通		2		17	12	1	15		14
		知能機能システムコラ	1通		1		17	12	1	15		14
		知能機能システムコラ ボラトリー演習Ⅳ	2通		1		17	12	1	15		14
		知能機能システム計 画調書作成演習III	1通		1			2		8		
		知能機能システム計 画調書作成演習	2通		1			2		8		
		小計(10科目) 構造エネルキ・一工学		0	18	0	17	12	1	15	0	15
構	専門	後期特別演習	1通		2		10	13		8		9
造エュ	科	構造エネルキー工学 後期特別研究	1通		6		10	13		8		9
ネルゴ	目	構造エネルキー工学 後期特別演習A	1前		1		10	13		8		9
ギー		構造エネルキ・一工学	1後		1		10	13		8		9
工学		後期特別演習B 構造エネルキー工学	444									
関連		後期特別研究A 構造エネルキ・一工学	1前		3		10	13		8		9
科 目		後期特別研究B	1後		3		10	13		8		9
		小計(6科目) エンパワーメント情報学	1.2.	0	16 1	0	10 14	13	0	8 15	0	9
ェン	専門	原論 エンハ・ワーメント情報学	3前 1通		2		14	12	1	15		1
パワ	科目	特別演習I エンパワーメント情報学	2通		2		14	12	1	15		1
ا لا	Ι	特別演習II エンパワーメント情報学			4		14	12	1	15		1
ント		特別研究I エンパワーメント情報学	1通						-			
情報		特別研究II エンハ・ワーメント情報学	2通		4		14	12	1	15		1
学関		特別研究III エンパワーメント情報学	3通		4		14	12	1	15		1
連科		特別研究IV エンハ・ワーメント情報学	4通		4		14	12	1	15		1
目		特別研究V エンパワーメントプロジェ	5通 1·2·		4		14	12	1	15		1
		外研究	3通 1·2·		2					1		
		エンパ・ワーメント学術雑 誌論文発表演習	3·4· 5通		2		14	12	1	15		1
		エンパワーメント国際会議・学術雑誌論文	1·2· 3·4·		2		14	12	1	15		1
		発表演習 アントレプレナーシップ演	5通									
		習 エンジニアリングレジデ	3通		1		1			0		
		ンス実習 エンパワーメント研究発	4通 1·2		1		1			0		
		表演習	通	0	34	0	14	12	1	15 15	0	1
		人を対象とした研	1通	U	1	U	14	12	'	10	U	2
ライ	基礎	究:基盤編博士後期ライフイノ	1前		1							10
フィ	科目	ヘーションセミナー 博士後期インターン	1.2.		1							2
ノベ		シップ【 博士後期インターン	3通		1							1
ーシ		シップ』I 小計(4科目)	, ,	0	4	0	0	0	0	0	0	14
ョン	車	ライフイノヘーション博 士後期演習I秋	1後		1		1					4
生	守門科	ライフイノヘ・ーション博 士後期演習I春	1前		1		1					4
物情	目	ライフイノヘーション博 士後期研究I秋	1後		2		1					4
報		ライフイノヘーション博士後期研究I春	1前		2		1					4
関連		ライフイノベーション博士後期演習II秋	2後		1		1					4
理科目		ライフイノヘーション博士後期演習II春	2前		1		1					4
ㅂ		ライフイノヘ゛ーション博	2後		2		1					4
		士後期研究II秋 ライフイノベーション博	2前		2		1					4
		士後期研究Ⅱ春	- 69	ı	-		l '		l	l		١.

ライフイノヘ・ーション博 士後期演習III秋	3後		1		1					4
ライフイノヘ・ーション博 士後期演習III春	3前		1		1					4
ライフイノヘ・ーション博 士後期研究III秋	3後		2		1					4
ライフイノヘ・ーション博 士後期研究III春	3前		2		1					4
小計(12科目)		0	18	0	1	0	0	0	0	4
合計(151科目)		0	226	0	72	76	5	57	0	205

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履 3年以上在学じ、学位プログラムことに定める修丁の安計として必要な授業科目の機 修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及 び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者 については1年(修士課程早期修了者等にあっては当該課程における在学期間を含め て3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

こついては3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習 I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位 以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、 III、IV、社会工学博士特別研究I、II を除く。)
- (2) 博士前期課程の科目
- (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共通専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許 可を得ること。

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

■ ウス・レン・リーンスエ子子はプログラム(ロ) 学位プログラム科目群ーリスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。
(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導
数量の事前社可を視ること

教員の事前許可を得る

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共诵専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

()10月入学の学生は、情報理工後期特別研究s及びf、情報理工後期特別演習A

- (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単 位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導 教員の事前許可を得ること。
- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目 (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習1 10単位及び同専門 科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

(二%) 10月入学の学生は、構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別研究A、Bの単位を修得すること。

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得 すること。 (1)システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程)

- (2) 博士前期課程の科目 (3) 他研究群開設科目
- (4) 学術院共通専門基盤科目
- (5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得る _ہ_

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)

学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワー メント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち 他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、

得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目
- (2) 学術院共通専門基盤科目 (3) 他研究群開設科目

【修士取得条件】 学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研会社2444歳本に一人株セスフレ 究基礎力審査に合格すること

ス金妮が番車にも行うのこと。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修 得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した 指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基盤科目
- (3) 他研究群開設科目
- ■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、 博士後期インターンシップ1、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単
- (3) 大学院共通科目 1~3単位

(4)ライフイノベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、 大学院共通科目

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

【令和2年度】

- ・投資体制充実のため、「特工後期ライフイ/ペーションセミトー」の兼任・兼担教員の配置を「9」から「10」に変更。
 ・指導体制充実のため、「博士後期イウースシップ1」の兼任・兼担教員の配置を「9」から「10」に変更。
 ・指導体制充実のため、「博士後期イターンシップ1」の兼任・兼担教員の配置を「1」から「2」に変更。
 ・指導体制充実のため、「ライフイ/ペーション博士後期演習1秋」「同1春」「同11秋」「同11春」「同111秋」「同111春」「ライフイ/ペーション博士後期研究1秋」
 「同1春」「同11秋」「同11春」「同111秋」「同111春」の兼任・兼担教員の配置を「3」から「4」に変更。
 ・情報工学位プロヴラム及び構造スネルピー工学学位プロヴラムにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により渡日できない外国人留学生の入学時期を10月1日に変
- 更したことに伴い、秋入学者用の履修方法を追加。 ※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の一時的な開講時期の変更等が生じた。 【令和3年度】 ・授業内容充実のため、 「Global Communication Skills Training」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「3」に変更。 「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」を選択科目に追加。 教育内容充実のため、 「地球規模課題と国際社会:食料問題」の兼任・兼担教員の配置を「j」から「4」に変更。 「地球規模課題と国際社会:社会問題」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3休」に変更。 「地球規模課題と国際社会:環境・Iネルギー」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3前」に変更。授業内容充実のため、同科目の 授業内容充実のため、 ・履修上の配慮のため、 履修上の配慮のため、 兼任・兼担教員の配置を「5」から「8」に変更。 ・科目名称適正化のため、「JAPIC7ドパンストディスカションコースIー流動化する世界とこれからの日本」の副題を一部変更。 ・授業内容充実のため、「JAPIC7ドパンストディスカションコースIー多極化する世界とこれからの日本」「同IIIーテウノロジーとグローバルで開く未来」の担当教員の配置 に「兼任・兼担1」を追加。 。 「ダイバーシティとSOGI/LGBT+」の担当教員の配置の兼任・兼担教員の配置を「1」から「2」に変更。 「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼担教員の配置を「10」から「9」に変更。 ・授業内容充実のため、 ・担当教員退職により、 「アクセシビリティリーダー特論」の兼任・兼担教員の配置を「8」から「9」に変更。 「脳の多様性とセルフマネジメント」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「3」に変更。 「博士のキャリアパス」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。担当教員交代により、同科目の兼任・兼担教員の配置を 授業内容充実のため、 授業内容充実のため、 履修上の配慮のため、 「4」から「2」に変更。 授業内容充実のため、 「科学的発見と創造性」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「3」に変更。 「「考える」動物としての人間- 東西哲学からの考察」の兼任・兼担教員の配置を「5」から「7」に変更。 「3-ガ-7-3」の兼任・兼担教員の配置を「1」から「3」に変更。 「現代7-ト入門」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に復旧。 「書実習基礎」を選択科目に追加。 授業内容充実のため、 ・授業内容充実のため、 ・教育内容充実のため、 担当教員退職に伴い、 「社会工学インターンシップ」「社会工学ファシリテーター育成プログラムӀ」「同11」の専任教員等の配置の「准教授20」を「准教授19」に、兼

工後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」の専任教員等の配置の「教授24、助教20」を「教授25、助教24」に変更。

- ・新規教員配置及び担当教員退職により、 「知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」の専任教員等の配置の「教授17、講師1、助教15」を「教授19、助
- 教16」に、兼任·兼担教員の配置を「15」から「16」に変更。 ・新規教員就任及び担当教員退職により、「知能機能システム学術雑誌論文発表演習Ⅰ」「同Ⅱ」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムコラ * ラトリー演習III」「同IV」の専任教員等の配置の「教授17、講師1、助教15」を「教授19、助教16」に、兼任·兼担教員の配置を「14」から「15」に変 更。
- 文。 ・新規教員就任及び担当教員退職により、「知能機能システム計画調書作成演習!!!」「同IV」の専任教員等の配置の「助教8」を「助教9」に変更。 ・新規教員配置及び担当教員退職により、「構造エネルギー工学後期特別演習」「構造エネルギー工学後期特別研究」「構造エネルギー工学後期特別研究A」「同B」「構造エネルギー工学後期特別研究A」「同B」の専任教員等の配置の「教授10、助教8」を「教授9、助教9」に変更。 ・新規教員就任及び担当教員退職により、「エンパワーメント情報学原論」「エンパワーメント情報学特別演習1」「同!!」
- | 「同!!」「同!り」「同V」「ニンパワーメント学術雑誌論文発表演習」「エンパワーメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンパワーメント研究発表演習」の専任教員等の配置の「教授!4、講師1、助教15」を「教授!5、助教16」に変更。
 指導体制充実のため、「ライフイ/ペーション博士後期演習!秋」「同!春」「同!!秋」「同!!春」「同!!!秋」「同!!1春」の専任教員等の配置に「助教2」を追
- 加、兼任・兼担教員の配置を「4」から「8」に変更。
- ・指導体制充実のため、「ライフイハベーション博士後期研究Ⅰ秋」「同Ⅰ春」「同Ⅱ秋」「同Ⅱ春」「同Ⅲ秋」「同Ⅲ春」の兼任・兼担教員の配置を「4」から 「9」に変更。

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の一時的な開講時期の変更等が生じた。

【令和4年度】

- 授業内容を踏まえ、 「英語発表」の授業科目の名称を「Presentations for General Audiences」に変更

- ・担当教員離職により、「人文知コミュケーション・人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼担教員の配置を「6」から「2」に変更。
 ・履修上の配慮のため、「総合資料学: 歴史文化の高度化研究とその伝達方法」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3後」に変更。
 ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「3」に変更。
 ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「3」に変更。
 ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼担教員の配置を「3」から「4」に変更。
 ・授業内容を踏まえ、「ルAPIC7ト'パンストディスカッションコースIII-テウ/ロジーとゲローバルで拓く未来」の授業科目の名称を「JAPIC7ト'パンストディスカッションコースII-次世代モピ

- ・授家上の配慮により、「科子的先見と創造性」の配当年次を「12.73前」がら「12.73歳」に変更。
 ・授業内容充実のため、「「考える」動物としての人間-東西哲学からの考察」の兼任・兼担教員の配置を「7」から「8」に変更。
 ・担当教員交代により、「ユミュニナーションアートルデザイクB」の兼任・兼担教員の配置を「7」から「8」に変更。
 ・担当教員追加及び昇任・退職により、「社会工学インターンシップ」「社会工学ファシリテーター育成プログラムI」「同II」の専任教員等の配置の「教授17、准教授
 19、助教8」を「教授19、准教授18、助教11」に、兼任・兼担教員の配置を「9」から「8」に変更。
 ・担当教員追加及び昇任により、「社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII」「同IV」の専任教員等の配置の「教授17、准教授19、助教8」を「教授19、准
- 教授18、助教11」に変更。
- | 教授18、 切教11] 「こ変更。
 ・担当教員追加及び昇任・退職により、「社会工学博士特別演習!」「同!!」「同!!!」「同!V」「社会工学博士特別研究!」「同!!」の専任教員等の配置の「教授17、准教授19、助教10」を「教授19、准教授18、助教11」に変更、兼任・兼担教員の配置を「10」から「8」に変更。
 ・履修上の配慮のため、「社会工学博士特別演習!」「同!!」「同!!」「同!V」「社会工学博士特別研究!」「同!!」の配当年次をそれぞれ「1前」「1後」「2前」「2後」「3前」「3後」から「1通」「1通」「2通」「2通」「3通」「3通」に変更。
 ・指導体制充実及び担当教員昇任により、「リスケ・レゲ・リエンス工学博士特別演習」の専任教員等の配置の「教授7、准教授5」を「教授8、准教授4」に変更、兼任・兼担教員の配置を「16」から「18」に変更。

- 本は、米に投資の記憶さ、1~03 から、103 に変更。 ・指導体制充実及び担当教員昇任により、「リスケ・レゲ・リエンス工学博士特別研究」の専任教員等の配置の「教授7、准教授5」を「教授9、准教授4」に、兼任・ 兼担教員の配置を「16」から「18」に変更。 ・指導体制充実及び担当教員昇任により、「リスケ・レゲ・リエンス・ケーススタディ」、「リスケ・レゲ・リエンス工学博士PBL演習」「リスケ・レゲ・リエンス工学博士インターンケップ・A」「同B」「リス

- ・新規教員配及び担当教員昇任により、「知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」の専任教員等の配置を「教授19、准教授12、助教16」から「教授
- 21、准教授13、助教14」に変更。 ・新規教員配及び担当教員昇任により、 、海が2716、1987年1、2025。 新規教員配及び担当教員昇任により、「知能機能以74学術雑誌論文発表演習!」「同II」「知能機能ンス74国際会議論文発表演習」「知能機能シスアムコラボラ -演習III」「同IV」の専任教員等の配置を「教授19、准教授12、助教16」から「教授21、准教授13、助教14」に、兼任・兼担教員の配置を「15」から 「16」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「知能機能システム計画調書作成演習III」「同IV」の専任教員等の配置を「准教授2、助教9」から「准教授3、助教7」に 変更。
- 。 ・新規教員配置及び担当教員昇任・退職により、「構造エネルギーエ学後期特別演習」「構造エネルギーエ学後期特別研究」「構造エネルギー工学後期特別演習A」 「同B」「構造エネルギー工学後期特別研究A」「同B」の専任教員等の配置の「教授9、助教9」を「教授10、助教7」に変更、兼任・兼担教員の配置を「9」 から「10」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員昇任・退職により、「エンパワーメント情報学原論」「エンパワーメント情報学特別演習!」「同!!」「エンパワーメント情報学特別研究!」「同 l!」「同!!!」「同!V」「同V」「エンパワーメント学術雑誌論文発表演習」「エンパワーメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンパワーメント研究発表演習」の専任教 員等の配置を「教授15、准教授12、助教16」から「教授17、准教授13、助教14」に変更、兼任・兼担教員の配置を「1」から「0」に変更。
- 「アントレプレナーシップ演習」の配当年次を「3通」から「3前」に変更。授業内容充実のため担当教員の配置に「兼任・兼担1」を追 履修上の配慮のため、 hΠ
- ・指導体制充実のため、「博士後期インターンシップ!!」の兼任・兼担教員の配置を「1」から「2」に変更。
 ・指導体制充実及び担当教員昇任のため、「ライフイノペーション博士後期演習!秋」「同!春」「同!!秋」「同!!春」「同!!!秋」「同!!!春」の専任教員等の配置の「助教2」を「准教授1、助教2」に、兼任・兼担教員の配置を「9」から「13」に変更。
 ・指導体制充実のため、「ライフイノペーション博士後期研究!秋」「同!春」「同!!秋」「同!!春」「同!!!秋」「同!!!春」の専任教員等の配置に「准教授1、助
- 教1」を追加、兼任・兼担教員の配置を「5」から「13」に変更。
- ※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により次の授業科目の開講時期に一時的な変更が生じた。
- Global Communication Skills Training、博士後期ライフイノベーションセミナー

【令和5年度】

- ・担当教員見直しにより、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼担教員の配置を「3」から「2」に変更。 ・担当教員退職により、「21世紀的中国 —現代中国的多相—」の兼任・兼担教員の配置を「9」から「8」に変更。 ・担当教員退職に伴う担当教員変更により、「地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「1」に変更。

- ・担当教員退職により、「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA」「同B」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の専任教
- 。 貴等の配置の「准教授4」を「准教授3」に、兼任・兼担教員の配置を「4」から「3」に変更。 ・担当教員退職により、「ネットワーク特論」「情報マネジメント」の兼任・兼担教員の配置の「1」を削除。 ・授業内容充実のため「異分野研究室インターンシップⅠ」「同Ⅱ」「研究型インターンシップⅠ」「同Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授3、助教 1」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「情報理工後期特別研究」「情報理工後期特別演習A」「同B」「情報理工後期特別研究s」「同f」「情報理工 後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」の専任教員等の配置の「教授25、助教20」を「教授24、助教18」に、兼任・兼担教員の配置を「8」から 「9」に変更。
- ・教育内容充実のため、「AI応用研究インターシシップ」「情報理工分野横断後期特別演習」を選択科目に追加。 ・教育内容充実のため、「AI応用研究インターシッップ」「情報理工分野横断後期特別演習」を選択科目に追加。 ・新規教員配置及び担当教員の昇任・退職により、「知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」「知能機能システム学術雑誌論文発表演習I」「同II」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムコラポラトリー演習III」「同IV」の専任教員等の配置を「教授21、准教授13、助教14」から「教授19、准教授14、助教11」に、兼任・兼担教員の配置を「16」から「15」に変更。
- ・担当教員の昇任及び退職により、「知能機能システム計画調書作成演習!!!」「同!V」の専任教員等の配置を「准教授3、助教7」から「准教授4、助教5」 に変更。

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

		設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	*	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	州
0	科目	137 科目	0 科目	137 科目	0 科目 [0]	156 科目 [19]	0 科目 [0]	156 科目 [19]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|--|

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

	区 分				内				容				備考
(1)	区 分	,	専	用	共	用	并 学	用する他の 校等の専用			計		
•	校舎敷均	也	1, 3	73, 254 m ²		0 m²	-		m²		1, 373, 25	54 m ²	
-	運動場用地	3	3	44, 887 m²		0 m²		0	m²		344, 88	37 m ²	
校	小 計	ł	1, 7	18, 141 m²		0 m²		0	m²		1, 718, 14		
地	そ の 他	1	7 7 7	97, 247 m ² 96, 323 m ² 98, 532 m ² 98, 027 m ² 98, 039 m ²		0 m²		0	m		796, 32 798, 53 798, 02	23 m 32 m 27 m	建物の新築、改築等による (2) 建物の新築、改築等による (3) 建物の新築等による (4) 建物の新築等による (5)
等。	숨 밝	ŀ	2, 5 2, 5 2, 5	15, 388 m ² 14, 464 m ² 16, 673 m ² 16, 168 m ² 16, 180 m ²		0 m²		0	m		2, 515, 38 2, 514, 46 2, 516, 67 2, 516, 16 2, 516, 18	38 m ² 34 m ² 73 m ² 38 m ²	
			専	用	共	用		用する他の 校等の専用			計		
(2) 校	舎		4	78, 742 m ² 79, 158 m ² 79, 537 m ² 79, 420 m ²		0 m²		0	m		478, 74 479, 15 479, 53 479, 42	58 m ²	- 建物の新築による(2) 建物の新築等による(3)
			-(479 -(479	, 742 m²) , 158 m²) , 537 m²) , 420 m²)		(0 m²)		(0 m	า๋)	-(478, 742 479, 158 479, 537 479, 420	m²) m²)	建物の新築、既存建物面 積の修正等による(4)
		講	義室	演習	室	実験実習	室	情報処理学習	『施設	語等	学習施記	设	申請大学全体
(3) 教	室等		332 室 336室		300室 293室 294室	2 2	, 031室 , 030室 , 032室 , 029室	1:	30室 29室 30室 30室 2人) 0人 2人 3人	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		 	し、語字字音施設の耐震 改修(一般教室で代替 中)、人事異動等のため
(4) =	万数号可办 点	•		新設学部等	等の名称			室		数			改修工事による用途見直
(4) 等	任教員研究室			申請大	学全体			1, 831	1, 830			室	しのため(3)
(5)	新設学部等		図 書 ち外国書〕	学術: 〔うちタ		電子ジャー	+ II.	視聴覚資料	機械	・器具	標	本	
(3)	の名称		のが国書」	() 57	種	モーフャー 〔うち外国		点		点		点	専攻単位での特定不能な ため、申請大学全体の数
-		2, 681, 7	96 (1, 044, 194)	30, 364 [1				17, 262		24, 989		551	」資料購入により図書・雑誌数増加、資料除籍のた
図書・設	申請大学全体	(2, 712, 4 (2, 727, 4	129 (1,046,608))- 100 (1,048,271))- 143 (1,050,669))- 327 (1,046,427))	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$)	め視聴覚資料数減少(3) 資料購入により図書・雑 誌・視聴覚資料数増加 (4) 資料購入により図書・雑						
横		2, 681, 7	96 [1, 044, 194]	30, 364 [1	2, 874)	31, 466 [31	, 404]	17, 262		24, 989		551	註。 坦陆管咨判粉换加
	計	-(2, 712, 4 -(2, 727,	129 [1,046,608]) 100 [1,048,271]) 143 [1,050,669]) 327 [1,046,427])	-(30, 447 - [-(30, 597 - [-(30, 749 - [(30, 829 - [12, 9143) - 12, 9693)	(32, 769 [32, 69 (32, 018 [31, 98 (37, 024 [36, 96 (37, 333 [37, 27	55)) 31))	-(17, 345) -(17, 219) -(17, 537) (17, 546)	(24,	989)	(551)	

			面	積	閲	1 覧 2	座 席 数		収	納可	能	₩	数	
(6) 図	書	館		30, 041 m²				2, 230 2, 233 2, 238 2, 236 2, 247				2, 60 2, 61 2, 61	7, 028 3. 611	閲覧室レイアウト変更、 より閲覧強加に、書可 能一数増加(2) 医学及増加(2) 医学及増加(2) 医学及増加(2) 医学及増加(2) 医学及増加(2) 医学及増加(2) 原数増加(3) 室り関関増加加(1) (3) 室り関助増加(2) ので廃資が関サートでのでは、 のででは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは
			面	積			体育館以	外のスァ	ポーツ施	設の概要				
(7) 体	育	館		22, 713 m 22, 765 m²	テニスコート、ハ	ハント゛ホ゛	ール場、ラグ	˙ビー場、	サッカー場	、陸上競	技場 、	、屋内 ⁷	<u>^</u> – .	屋内プールは体育館面積 に含まれているため (2) 増築等による (4)
	経費	Σ	分	開設年度	完成年度	区	分	開設前	前年度	開設年	度	完成4	丰度	
(8)	程度 の見 積り	教員 1	人当り研究費等	千円	千円	図書	購入費		千円	=	千円		千円	
経費の見 積り及び		共 同	研究費等	千円	千円	設備	購入費		千円	=	千円		千円	国費による
維持方法 の 概 要	子王	1 人当 り	第1年次	第2年次	第3年	次	第44	年次	第	5年次		第6年	次	国東による
		付金	千円	千円		千円		千円		千円			千円	
	学生	納付金	以外の維持方法の	概要										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	筑波	大 学								平均入学定員 超過率0.7倍以	0	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	収容定員充足 車0.7倍以下の 学科数 の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	下の学科数 定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	(中科教 の学科教 の学科教
	年	人	年次	J		倍	倍	倍	倍	1	年度		
人文・文化学群	4	240	人 0	960	_	1. 02	1. 02	1. 08	1. 01	_	平成19	_	
人文学類	4	120	0	480	学士	1. 03	1. 03	1. 09	1. 02	_	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
比較文化学類	4	80	0	320	学士	1. 03	1. 02	1. 11	1. 03	_	平成19	同上	
日本語・日本文化学類	4	40	0	160	学士	1. 01	_	0. 98	_	_	平成19	同上	
					(日本語教育)								
社会・国際学群	4	160	3 年次 10	660	-	1. 01	-	1. 08	1. 03	-	平成19	-	
社会学類	4	80	10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	1.01		1.06	1. 02	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
国際総合学類	4	80	0	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科 学)	1. 02	-	1. 10	1. 04	-	平成19	同上	
人間学群	4	120	0	480	-	1. 06	1. 06	1. 10	1.06	-	平成19	-	
教育学類	4	35	0	140	学士	1. 05	1. 04	1. 12	1. 05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
心理学類	4	50	0	200	学士	1. 08	-	1. 11	1. 07	-	平成19	同上	
障害科学類	4	35	0	140	学士 (障害科学) (特別支援教 育学) (社会福祉学)	1. 04	-	1. 08	1. 05	-	平成19	同上	
生命環境学群	4	250	3 年次 10	1, 020	_	1. 01	1. 01	1. 07	1. 04	-	平成19	-	
生物学類	4	80	0	320	学士	1. 02	1. 01	1. 09	1. 05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
生物資源学類	4	120	10	500	学士 (生物資源科	1.00	_	1. 05	1. 02	_	平成19	同上	
地球学類	4	50	0	200	学士(理学)	1. 04	1. 04	1. 11	1.06	-	平成19	同上	
wm — M. W.		500	3年次					4 00			B.4.0		
理工学群	4	520	10	2, 100	- 学士	1. 02	1. 02	1.09	1.04	-	平成19	- 茨城県つくば市	
数学類	4	40		160	学士	1.00	1 02	1.06	1.00	-	平成19	天王台1-1-1 同上	
物理学類 化学類	4	60 50		240 200	学士	1. 03	1. 03 1. 01	1. 14	1. 05	_	平成19	同上	
化字類 応用理工学類	4	120		500	学士	1. 02	1.01	1.08	1.07	_	平成19	同上	
ル用母エ子類 エ学システム学類	4	130		520	学士	1. 02	-	1. 09	1. 03	_	平成19	同上	
社会工学類	4	120		480	学士(社会工学)	1. 02	1. 02	1. 11	1.06	_	平成19	同上	
情報学群	4	230	3 年次 30	980	-	1. 05	1. 04	1. 14	1. 06	-	平成19	-	
情報科学類	4	80	10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	1.05	1. 04	1. 12	1. 06	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
情報メディア創成学類	4	50	10	220	学士 (情報メディ ア科学)	1.04	1. 04	1. 17	1. 06	-	平成19	茨城県つくば市 春日1-2	
知識情報・図書館学類	4	100	10	420	学士 (図書館情報 学)	1. 05	1. 05	1. 13	1.06	-	平成19	同上	
医学群(修業年限6年)	6	134	2年次 5	831	-	0. 97	-	1. 00	-	令和5	平成19	-	
<u>医学類</u>	6	134	5	831	学士	0. 97	-	1.00	-	令和5	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	入学定員変更 (98→134)

医学群(修業年限4年)	4	107	3 年次 13	454	-	1. 02	1. 02	1. 05	1. 01	-	平成19	-		
看護学類	4	70	10	300	(ヘルスケア)	1. 03	-	1. 07	1. 03	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1		
医療科学類	4	37	3	154	学士 (医療科学) (国際医療科 学)	1. 01	1.00	1. 03	1.00	-	平成19	同上		
体育専門学群	4	240	0	960	学士(体育学)	1. 06	1. 05	1. 10	1. 07	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1		
芸術専門学群	4	100	0	400	学士	1. 04	1. 04	1. 11	1. 04	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1		
大学全体	4	2, 101	3年次 73 2年次 5	8, 845	ı	ı	1	ı	-	ı	_	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等
 - (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 - なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 - (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の
 - 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 - なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工情報生命学術院 システム情報工学研究群(D)(5年一貫)>

(1)一① 担当教員表 掲載省略

(1) -②担当教員表に関する変更内容 掲載省略

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
36	3	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学院】

		Ē	殳 置	時	の計画	Đị .					現在(服告時)の状況	ļ	
教技	受	准教授	講館	師	助教	計 (A)	助手 (A')	教	受	准教授	講自	师 .	助教	計 (B)	助手 (B')
64 (71)		79 (76)	5 (5)		49 (57)	197 (209)	0 (0)	77		79	3		49	208	0
研究導動数数	うち授	研究指数	導補助		(37) 気のみ担当 の教員数	(209)		研究 指導 数	うち 授数	教	道導補助 員数		のみ担当 数員数		
143 (146)	64 (71		4 (3)		0			173	77	;	34		0		
		現在(報告時)	<u>の</u>	完成年度時	の状況				現在	(報告時)	の完	成年度時	の計画	
教技	문	准教授	講自	币	助教	計 (C)	助手 (C')	教技	曼	准教授	講館	币	助教	計 (D)	助手 (D')
77		79	3		49	208	0	77		79	3		49	208	0
[13]	[0]	[△2]	[0]	[11]	[0]	[13]	[0]	[△2]	[0]	[11]	[0]
研究 指導 数	うち 授	教教	導補助 員数		も のみ担当 の教員数			研究 指導 教 数	うち 授数	教 教	i導補助 員数		のみ担当 数員数		
173	77	7 3	5		0			173	77	;	35		0		
[30]	[13	3] [△	19]		[0]			[30]	[13]	[∠	19]]	0]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

 - ・「現在 (報告時) の状況」には、報告年度の5月1日の教員数 (実人数) を記入してください。
 ・「現在 (報告時) の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在 (報告時) の状況」に記入した数字に、 数員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する数員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 - **「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに飲任することが決定している教員数を加えた数を配入**するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1) ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

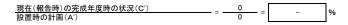
(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 - 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別 井	旦当予定科目	後任	E補充状	況	京	忧任辞退	₹ (未	就任)の理	由	
				掲載省略													
			•	合計	(D)	•	•				移	经任補充状况	の集計	(E)			
	京	犹任る	を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数(b))	③の合計	∤数(c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	35	科目	選択	35	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			4	, ,	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					ī	†	35	科目	計	35	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職位	専任教	対員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目	後	任補充	状況		Ħ	辛任等	の理由		
			掲載	找省略													
				合計	(F)							後任補充状況	兄の集計	(G))		
		辞任	した教員数	数	担当科目	目数の合計	(a) +	(p) + (c)	①の合	計数	(a)	②の合	計数(b)	③の合計	b数(c))
					必	修	0	科目	必修	C	科	■ 必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	227	科目	選択	22	7 科	選択	0	科目	選択	0	科目
		17		人	自	由	0	科目	自由	C	科	自由	0	科目	自由	0	科目
			ī	it	227	科目	計	22	7 科	計	0	科目	計	0	科目		

- (注) · 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・(3) -② の合計

	合計(D) + (F)				í		#充状況の集	計(E) +	(G)		
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	計 (a) + ((b) + (c)	①の合計	十数(a)		②の合計	ł数(b)	③の合計	├数 (c))
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
0.4		選択	262	科目	選択	262	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
21	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	262	科目	計	262	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- (注)・(3) -①、(3) -②で $\frac{1}{5}$ 字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	予定科目	後任補充	状況			辞任	壬等の	理由		
				掲載省略												
											後任補充物	犬況の賃	集計			
	辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (d)				(b) + (c)	①の合計	十数(a))	②の合計	十数(b)	③の合計	ŀ数(c)		
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選択	21	科目	選択	21	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			3	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(R2) 4名が就任辞退となったが、新規教員として教授2名、准教授3名、助教11名を配置して教育体制を充実させるとともに、未就任教員の担当予定科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。 (R3) 4名が辞任となったが、新規教員として教授1名、助教3名を配置して教育体制を充実させるとともに、辞任した教員の担当科目はすべ て専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。

(R4) 5名が辞任となったが、新規教員として教授2名、助教8名を配置して教育体制を充実させるとともに、辞任した教員の担当科目はすべ

て専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。 (R5) 8名が辞任、3名が定年退職となったが、新規教員として教授1名、准教授2名、助教3名を配置し、過年度の異動と合わせて専任教員の配置は設置時の計画に対して11人増となっている。辞任した教員の担当科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はな い。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
事前伺い時(令和元年)		【事前伺	「専門学位」設定の意義並びに 「専門学位」及び「研究学位」の 意味の説明について、本学の大学 院改革の要点をまとめたパン紙はを参 にかり、WEB並びに紙1を参 にかり、WEB並びに紙1を参 にかり、WEBが立いに紙2 にかり、WEBが立いに紙2 にかり、WEBが立いに紙2 にかり、WEBが立いに紙2 にかり、のは、新組織の設置に伴い事前に 実施した企業アンケート、で専門学 位」及び「研究学位」の意業がでは、の でのは、のででは、のででは、でででは、でででは、でででは、ででは、のでででででででで	履行済	
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和2年)					
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和3年)					
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和4年)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

- 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>
- 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

〈理工情報生命学術院 システム情報工学研究群(D)(5年一貫)>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・全学的な教員の資質の維持向上のため、全学組織である教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動の実施に関する要項」を制定し、全学的なFD活動の推進を行っている。(別紙2,3を参照)
 - ・部局FDについては、システム情報工学研究群の関係学位プログラムから選出された委員で構成する「FD委員会」を設置し、本FD委員会が中心となって教員の資質の維持向上、FD活動を行う。また、FD委員会委員を部局FD担当教員と位置付け、大学全体のFD活動等との連携、調整、実施を行う。(別紙4を参照)
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・全学FDについては、教学マネジメント室運営会議を月1回開催し、全学FDの企画及び運営を行っている。
 - ・部局FDについては、システム情報工学研究群のFD委員会(委員:12名)を年数回開催。
- c 委員会の審議事項等
 - ・教学マネジメント室教育力向上部門は、全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画及び実施並びに部 局におけるファカルティ・ディベロップメント活動の支援に関することを業務としている。
 - ・システム情報工学研究群FD委員会の審議事項等:各種研修会の企画・立案・開催、授業評価アンケート結果の 確認・分析等

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・教学マネジメント室教育力向上部門:全学FD研修会の企画及び運営
 - ・システム情報工学研究群FD委員会:授業評価アンケートの実施、オンライン授業実施方法についての勉強会 (全学FDとの共同開催)、優秀な博士人材獲得に向けた講習会、留学生受け入れ後の対応に関する講演会
- b 実施方法
 - ・全学FD研修会の開催(教学マネジメント室教育力向上部門)
 - ・実施内容に即して、研究群FD委員会においてコーディネートして実施する。(システム情報工学研究群FD委員会)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・全学FD研修会:全学的に実施している学位プログラムのモニタリング及びプログラムレビューの結果等も 踏まえて全学FD研修会を企画・実施している。令和4年度は全16回の全学FD研修会を実施した。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・プログラムレビューの結果を踏まえ、各学位プログラムは必要な事項について改善計画書を教学マネジメント室 に提出し確認を受けた上で、改善計画を実施している。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・各授業科目終了時に授業評価アンケートを行っているほか、学位プログラムごとに学生との懇談会などの機会 を活用して学生の意見を収集し、授業及び研究指導の改善に役立てている。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・各学位プログラムの担当教員間で集計結果を共有するほか、大学ホームページにおいて集計結果の概要を公表 している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月に理工情報生命学術院システム情報工学研究群(博士後期課程/一貫制博士課程)を設置し、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行い、教育課程を実施している。設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」は全学的に配付・周知されており、また、当該書類に記載した改革の要点をまとめた大学院改革パンフレットも制作・公表している。

さらに令和2年度から、教学マネジメントの確立のため、学位プログラムごとに入口から出口にわたる教育の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューを全学的に開始した(大学院については令和2年度に試行、令和3年度から正式導入)。今後も、新たな教育システムの下、本研究群が大学院の担うべき重要な使命を果たし、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・令和5年度中 筑波大学年次報告書の公表
 - b 公表方法
 - ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和6年度に受審予定

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

_						
()	設置計画履行状況報告	書	(令和5年度)		
	а	公表予定の有無	(有 〕		
ŀ	≪ a	で「有」の場合≫				
	b	公表(予定)時期	[調査結果公表後 1 ヶ月以内]	
	С	公表方法	ĺ	ウェブサイトへの掲載]	
ŀ	≪а	で公表「無」の場合≫				
I	d	公表しない理由	ĺ)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。